

6 に化体された法文化

——グロスフェルト学説継承の試み——

山内 惟介

I	序	説
II	共	有
III	地	域
IV	事	項
V	対	比
VI	結	び

“数に対する意識も文化に含まれる”＊ “どのような意味が数に対して付与されるか……という問いに対する解答も、異なる文化の間では、それぞれ違ったかたちで現れている。”**

＊ ベルンハルト・グロスフェルト著（山内惟介訳）『標（しるし）と数の法文化 — 時間軸と空間軸から数を眺めよう —』（日本比較法研究所翻訳叢書（85）、中央大学出版部、2020年）37頁。

＊＊ グロスフェルト著（山内訳）・前掲書（前注＊）264頁（Bernhard Großfeld, *Zeichen und Zahlen im Recht — Zahlen in Rechtsgeschichte und Rechtsvergleichung —*, 2. durchgesehene und ergänzte Auflage, Tübingen, 1995, S.221.）なお ders., *Kernfragen der Rechtsvergleichung*, Tübingen 1996 参照。

I 序 説

1 洋の東西を問わず、また時代の後先に関わりなく、緻密な実定法解釈技法の修得が法律学学修の中核を成すことに異論はないであろう。実定法規範は、制定時期に応じてその法的形式を異にするものの、概して当該制定主体の支配地域内で完結したものとみなされている（この点は空間的適用範囲を定める条約（国際法源）にも妥当する。）。そのことが示すように、実定法規範の解釈は各制定主体が定める公用語の意味内容の解明というかたちで行われてきた。かくして、実定法の学修は、空間的な意味においてのみならず、言語的な意味においても、閉鎖性（Geschlossenheit, Begrenztheit）を伴いがちである。

しかしながら、大航海時代（15世紀半ばから17世紀半ば）のポルトガルやスペインの実情、さらには、マルコ・ポーロ（Marco Polo, 1254年-1324年）『東方見聞録（La Description du Monde, Le Devisement du monde, Livre des Merveilles, Il Milione）』の記述などからも知られるように、人びとの交流や物流は早くから国境を越えて行われてきた（開放性（Offenheit, Offenherzigkeit））。長い国際私法史¹⁾が示す通り、涉外事件の発生形態や紛争解決手法は、時代とともに変化してきている²⁾。実定法の規制対象や規律内容に国家間での違いがあるように、また各種記号（文字、数字等）の使用慣行にみられるように、涉外事件の規律方法も時間的・空間的な制約を免れず、地球的規模での法の統一が今なお遥かに遠い課題であることも否定され得ない。それでも、武力や資金力といった物理的な力による支配に代えて、倫理や論理に基づく「法による世界平和」³⁾を希求する立場からみれば、地域や集

1) Max Gutzwiller: Geschichte des internationalen Privatrechts. Von den Anfängen bis zu den großen Privatrechtskodifikationen, Basel 1977

2) 山内惟介／佐藤文彦共編著『〈標準〉国際私法』（信山社、2020年）第24章他参照。

団の文化的特性に起因する法文化 (Rechtskultur, legal cultures) 相互の格差を取り除くための工夫が一段と強化されたかたちで継続されなければならないであろう。

2 そのための試みはすでに、民俗学、文化人類学、社会学、心理学等の諸分野において、異文化間コミュニケーションの効果的実現の探求というかたちで行われている。法律学の領域でも、世界の諸地域に住まう人びとの社会行動文法 (social grammar) という視点から具体化される法文化相互の対比を通じて、共有可能な判断基準 (比較の第三項 (tertium comparationis)) を解明しようとする努力 (法文化比較学、比較法文化論) が段階的に行われている⁴⁾。法文化比較の実践的目的は、彼我の相違を明らかにすることにとどまらず、地球的規模での利益対立に起因するさまざまな紛争の根源的な発生原因を効果的に取り除く方法を模索し、現実的解決策を提案することにある。このようにみると、実定法解釈技法の修得と対等の関係において、法文化比較技法の修得も、法律学の学修における重要な柱 (二枚看板) を成すことが分かる⁵⁾。

3) 田中耕太郎『世界法の理論』(岩波書店(全3巻), 1932-1934年, 復刻版1973年), 同『続世界法の理論』(有斐閣(上・下), 1972年), 折茂豊「世界法」(鈴木竹雄編『田中耕太郎 人と業績』(有斐閣, 1977年) 76頁以下他。

4) 千葉正士『法文化のフロンティア』(成文堂, 1991年), 角田猛之『法文化の探求—法文化比較にむけて』(補訂版 法律文化社, 2001年), 竹下賢/角田猛之『マルチ・リーガル・カルチャー—法文化へのアプローチ』(改訂版 晃洋書房, 2002年), 池田政章『法文化論序説(上・下)』(信山社, 2018年)他。

5) 山内惟介『比較法研究 第一巻—方法論と法文化—』(日本比較法研究所研究叢書(79), 中央大学出版部, 2011年), 同『比較法研究 第二巻—比較法と国際私法—』(日本比較法研究所研究叢書(105), 中央大学出版部, 2016年), 『比較法研究 第三巻—法文化の諸形相—』(日本比較法研究所研究叢書(111), 中央大学出版部, 2017年), 同『地球社会学への誘い』(信山社, 2018年), 山内惟介「21世紀法律学の課題と法律家の責任—国際企業関係法学科四半世紀の経験を踏まえて—」白門69巻4号42頁以下他。

法文化比較分野の先行文献としては、シャルル＝ルイ・ド・モンテスキュー (Charles-Louis de Montesquieu, 1689-1755年) の『法の精神 (De l'Esprit des lois)』⁶⁾(1748年) やフリードリヒ・ハインリヒ・アレクサンダー・フライヘル・フォン・フンボルト (Friedrich Heinrich Alexander, Freiherr von Humboldt, 1769-1859年) の旅行記⁷⁾等が知られているが、法文化比較の対象についても法文化比較の方法についても、いまだ定説はない。

3 このような状況下にあつて、地理や宗教、文字や数字が諸国の実定法規範の内容や立法過程に対してなんらかの影響を及ぼしているか、そうであるとすれば、諸国の法や法文化にどのような影響が見出されるかという視点から法文化の探求および比較の可能性に挑戦したのが前世期後半から今世紀初頭にかけて活躍したドイツの法律家、ベルンハルト・グロスフェルト (Bernhard Großfeld) 博士であつた⁸⁾。

「一事不再理」, 「三位一体」, 「四季」など、助数詞が付いた数字一般を「名数」⁹⁾という。「六」を用いた例¹⁰⁾としては、「六法全書」などが挙げら

6) モンテスキュー (野田良之・稲本洋之助・上原行雄・田中治男・三辺博之・横田地弘 訳) 『法の精神 上・中・下』(岩波書店, 1987年)(同・岩波文庫版, 1989年)。

7) 山内惟介「アレクサンダー・フォン・フンボルト—法文化研究の視点から—(1)」法学新報121巻7・8号(毛塚勝利先生退職記念号)403頁以下, *Reise in die Aequinoctial—Gegenden des neuen Continents* (Hermann Hauffの独訳版), Stuttgart 1859-60他。

8) Großfeld, *Zeichen und Zahlen im Recht* (前注**) 他。ちなみに, グロスフェルト博士と小稿の被献呈者, 廣岡教授には6人の子持ちという共通点がある。

9) https://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/sansu/WebHelp/01/page1_07.html; <http://daijirin.dual-d.net/extra/meisu.html> (2021年1月30日確認)。名数については, 朝倉治彦他編『日本名数辞典』(東京堂出版, 1979年), 森陸彦編『名数数詞辞典』(東京堂出版, 1980年), 川越泰博編『中国名数辞典』(国書刊行会, 1980年), 『名数歴史人物辞典』(恵友社, 1986年), 小田栄一, 森谷尅久『茶道名数事典』(淡交社, 1985年), 村石斗志夫『名数事典』(大泉書店, 1986年), 南清彦著『増補改訂版 名数絵解き事典』(叢文社, 2001年) 他。

れよう。この「名数」に着眼し、実定法規や法文化と数（数字）との関係性の解明を試みた研究として知られているのが、彼の『Zeichen und Zahlen im Recht』¹¹⁾である。ここでは、3, 4, 5, 7, 8などを素材として、数に化体された法文化の探求が試みられているものの、6については部分的に触れられる¹²⁾にとどまり、正面から取り上げられていない。以下では、この欠落を埋めるため、グロスフェルト博士の手法に倣い、参照可能な手元の資料に依拠して「6に化体された法文化」を探ることとしたい。ここでのささやかな試みが、グロスフェルト博士の研究を多少とも補完するものとなるならば、同時に、敬愛する同僚、廣岡守穂教授の新たな旅立ちを寿ぐものとなれば幸いである。

10) このほか、音楽（六調子）、川（六玉川）、漢字（六書）、漢方（六脈、六腑）、暦・季節（六曜、六曆）、書物（六韜三略、六論衍義、六国史、六家集）、人体（六骸、六穴）、中国思想（六徳、六礼、六気）、地理（六大州）、仏教（南都六宗、六観音、六時、六地藏、六種震動、六種力、六神通、六窓、六大、六道、六波羅蜜、六蔽、六喻、六欲、六欲天、六鏡、六根）、文学（六義）、方位（六合、六極）、歴史（六科、六芸、六朝、六論、六所遠流）、その他（六情、六親眷族、六信五行、六畜、六味、六穀）、人物（竹溪の六逸、六師外道、六大師、六歌仙）、故事・ことわざ（「朽索の六馬を馭するが如し（腐った縄で六頭の馬を操るように、極めて困難で危険なことのたとえ（出典：「書経」五子之歌））」などがある（<http://daijirin.dual-d.net/extra/meisu.html>（2021年1月30日確認））。

11) Großfeld, Zeichen und Zahlen im Recht（前注**）その邦訳として、グロスフェルト（山内訳）・前掲書（前注*）。

12) 数字の組合せによる富くじの例（6つの正解）（Großfeld, Zeichen und Zahlen im Recht（前注**）S.32（グロスフェルト（山内）・前掲書（前注*）40頁）、「ヒンドゥーの信仰によれば、6は、『 2×3 という数式を基にした消滅論』を意味していた。6との対比でいえば、7は、もうひとつ別の（神がかった）意味（1を足した数）を表していた。」（Großfeld, Zeichen und Zahlen im Recht（前注**）, S.128f.（グロスフェルト（山内）・前掲書（前注*）156頁。）他。

Ⅱ 共 有

1 地球社会に偏在するそれぞれの地域に、6に化体された法文化があるか否かを探るに先立ち、各地域に共通するという意味での、いわば「世界的規模の法文化」があるか否かを確認しておこう。法文化の意味を前述のように解すると、それぞれの社会を構成する集団に属する法主体が概ね共通して示す社会行動様式（実定法規範の始原的形成基準）を大凡規^{おおよそ}範の形式（「……とき」（要件）→「関係者が同一の行動をとる」（効果））で表すことができよう。この種の行動様式は、必ずしも特定の空間に限定されたものでも、特定の人間に固有のものでもなく、集団的行動様式の時間的変容に合わせて変化する余地を残している¹³⁾。衣食住に即していえば、何を身に纏うか、食材を自分の手で触るか道具（箸、ナイフ、フォーク、スプーン等）を用いるか、室内で靴やスリッパを履くか否かといった行動様式（習慣）に違いがみられるし、宗教的慣行や倫理・道徳の内容や現れ方も各集団の間で異なり得る。また、「市民的及び政治的権利に関する国際規約（International Covenant on Civil and Political Rights）」の締約国¹⁴⁾でありながら、これらの権利の実現形態において大きな差がみられる例も少なくない。それでも、純然たる意味で世界共通の統一的な行動様式が存在しないとしても、広範囲に亘って共通の社会慣行として定着している行動様式が見出されないわけではない。上記の「世界的規模の法文化」という表現はこのような意味で用いられたものである。

13) むろん、時間的間隔などは、それぞれの社会集団が置かれた地理的環境に制約されるため、個々の局面が当該社会で有する相対的価値に応じて、変化する余地がある。

14) https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kiyaku/2c_001_1.html（2021年1月30日確認）。

2 まず挙げられるのは、尺度として使用される60進法¹⁵⁾である。60進法は、尺貫法¹⁶⁾(尺を基本とする長さ・距離の単位(度量衡の「度」))にも部分的に採用されている(1町=60間=360尺)が、一般的にみると、時の推移を測る単位として普及している。60秒を1分とし、60分を1時間とするこの計測方法が、今日、陸上競技や水泳競技の順位決定の基準として世界的規模で用いられている点に疑いはない。

イギリス在住のデザイナー、ミランダ・ランディ(Miranda Lundy)は、60進法について、以下のように解説する。

“紀元前3000年頃、シュメール人はわれわれに知られている最初の文字を開発し、同時に60を基本とする数のシステムを開発した。60……は1, 2, 3, 4, 5, 6で割ることのできる数である。

60進法で計算すると、現代の10進法とは異なる数字のパターンが導かれる。楔形文字で書かれたシュメールの粘土板には、36の乗算表が記載されている。現在でも、われわれは60進法で周期や円を計測している。1分は60秒として、1時間は60分として、円は $6 \times 60 = 360$ 度として計測される。

古代エジプト人の数は、1, 10, 100などの記号で構成されていた。エジプトの算術の例として、彼らの用いた乗法が挙げられるが、この乗法では倍数を繰り返したり、加算を選んだりする解法が発見されていた。

旧い見方では、数の概念に音楽的な性質があると考えられていた。たとえば、五線の下半分(分母)に音価、上半分(分子)に拍数を書く拍子記号が示すように、2や3を2分の1(二分音符がひとつ)や3

15) 60を底とし、底およびその冪を基準にして数を表す方法。

16) 1里 = 36町 \approx 3927.272 (約3927) m, 1町 = 60間 = 360尺 \approx 109.090 (約109) m, 1間(歩) = 6尺 \approx 1.818 (約1.82) m, 1丈 = 10尺 \approx 3.030 (約3.03) m, 1尺 = 10寸 = 10/33m [2] \approx 0.303 (約0.303) m

分の1 (三分音符がひとつ) と書き表せるように、どの数も拍子記号で書くことができる。数が相互に影響を与え合う様子は、60進法の場合、特に見事に表れる。それは、2, 3, 4, 5および6の倍数のいずれも簡単な分数となるからである。たとえば、15は60の4分の1と書き表せる。バビロニア人は神々を呼び出すとき、この60進法を用いていた。

エジプトの分数は、ヒエラティック、デモティックと並ぶ3種の古代エジプト文字のひとつで、口を表すヒエログリフ、つまり、量を示す数の分数を間に挟み、ハヤブサの姿あるいは頭部を持つ天空神ホルス (古代エジプトのシンボルのひとつ) の両目 (左側の「ウアジェトの目」は月の象徴、右側の「ラーの目」は太陽の象徴) のかたちで表現されていた。”¹⁷⁾

60進法は、紀元前3000年頃-紀元前2000年頃にシュメールおよびその後継のバビロニアで発見された。バビロニア人は、太陽の位置の移動に注目し、1年がおよそ360日であることを知っており、これに基づいて、円周を360の部分 (=度) に分ける方法を編み出した。このバビロニア人の考えに依拠して、初めに、古代ギリシアの天文学者、ヒッパルコス (Hipparchus of Nicaea, Ἰππάρχος, Hipparkhos; 紀元前190年頃-紀元前120年頃)¹⁸⁾らが、その後、ヒッパルコスの考えをさらに発展させた古代ローマの天文学者、クラ

17) Miranda Lundy, *Symbolik der Zahlen*, Mannheim 2010, S.40. (その邦訳として、ミランダ・ランディ (桃山まや訳) 『数の不思議：魔方陣・ゼロ・ゲマトリア』 (アルケミスト双書) (創元社, 2010年)。 https://www.e-hon.ne.jp/bec/SA/Detail?refShinCode=010000000000032432444&Action_id=121&Sza_id=C0 (2021年1月30日確認)。なお、ランディの邦訳として、ミランダ・ランディ (駒田曜訳) 『幾何学の不思議：遺跡・芸術・自然に現れたミステリー』 (アルケミスト双書) (創元社, 2011年) がある。

18) <https://astro-dic.jp/hipparchus/> (2021年1月30日確認)。

ウディオス・プトレマイオス（Κλαύδιος Πτολεμαῖος, Claudius Ptolemaeus, 83年頃-168年頃）¹⁹⁾が紀元150年頃に緯線・経線の360度をさらに6の部分に分け、それをさらに60分割して、360の領域に分ける方法を考案した。その背景には、60が、(1)6（立方体の面の数）と(2)10（両手の指の数）と(3)12（太陰暦の1年=12か月。 3×4 ）と(4)20（両手両足の指の総和=20。 5×4 ）と(5)30（1か月=30日。 $2 \times 3 \times 5$ ）、これら5つの数の最小公倍数であるだけでなく、同時に、1から5までのどの数でも割り切れる最小の数であるため、約数（2, 3, 4, 5, 6, 10, 12, 15, 20, 30）が多かったという事情による²⁰⁾。こうして、60分の1度を1とする「分」、60分の1分を1とする「秒」という角度の単位が生まれた（角度の「分」および「秒」は現在でも測量や天文学で利用されている。）。この「分」および「秒」という名称と60分割の考え（60進法）はギリシア人に受け継がれ、中世に入ってから時間分割にも使われるようになり、現在知られている時間の単位としての「分」と「秒」が登場した。

これに対して、「甲子」、「乙丑」のように、「十干」と「十二支」を組み合わせた60項から構成される干支²¹⁾（60を周期とする数詞）が使われる地域

19) <https://astro-dic.jp/ptolemaeus-claudius/>（2021年1月30日確認）。

20) 「古代バビロニア人が数学・天文学で使用していた「12進法、60進法、円周360度」から時間の単位は作られた……。獲物を分ける、農作物を分ける等、分割しやすい数というのが、便利な単位であった……。円を分割するのに6等分をベースにした分割方法は使いやすかった……。6等分は1辺が半径の長さになる正三角形となるので、半径の長さで円周上を切っていくと簡単に6等分することができ……。更にそれぞれ半分に分けると12等分が完成……。12等分されたものは、半分にも、4等分にも分けられるし、3等分、6等分、そして12等分にも分けられる……。更にそれぞれを5等分したものが60分割……。60分割にすると5等分や10等分も可能になりより使い勝手がよかった……。 (60は100までの数字で最も約数の多い数字)」<https://www.jcwa.or.jp/etc/whatstime/wt03.html>（2021年1月30日確認）。

21) 干支は、古代中国を発祥とする、時間や方角の数え方の単位を言う。「十干」は、陰陽五行思想の要素である木・火・土・金・水をそれぞれ陰と陽（「え」

や年代は、陰陽五行説²²⁾の影響もあって、東アジア地域に限定されている(還暦²³⁾、丙午²⁴⁾他)。

と「と」の両性質に分けた10要素からなる。甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)で表され、「十二支」は、漢字で子(ねずみ)・丑(うし)・寅(とら)・卯(うさぎ)・辰(たつ)・巳(へび)・午(うま)・未(ひつじ)・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(いのしし)の12項目からなる。この構成では、甲子(きのえね・こうし)、乙丑(きのとうし・おつちゅう)から始まり、庚申(かのえさる)、辛酉(かのととり)、壬戌(みずのえいぬ)、癸亥(みずのとい)まで、全60個のユニークな組み合わせができる。最後まで数え終わると最初に戻って甲子(きのえね)から数え直す。干支は年数の数え方、1日における時刻の数え方、方角の数え方など、物事を指し示す単位や呼び名として広く用いられてきた。時刻も方角も、干支で示されるものには「1周回って最初に戻る」という周期性が認められる。吉野裕子『陰陽五行と日本の民俗』(人文書院、1983年)56頁以下、同『十二支易五行と日本の民俗』(人文書院、1994年)275頁他。

22) 「陰陽論」と「五行説」とを組み合わせ、宇宙から人事にいたる全ての現象を説明しようとする理論。陰陽説とは、世界を対立する二元「陰陽」に還元し、森羅万象の状態を「陰陽」であらわそうとする理論。五行説とは、「木・火・土・金・水」の五元素によって自然現象や人事現象のいっさいを解釈し説明しようとする思想。「五行」はもともとは万象を五つのグループに範疇化するために用いられた概念だったが、鄒衍(すうえん)が「陰陽主運説」……によって、「陰陽論」と合体させた後は、「万物を成り立たせている五つの気の状態」というように理解されるようになった。五行を陰陽で分けると、木と火は「陽」、金と水は「陰」、土は「陰陽半々」という配当になる。同じ「陽」の五行に属する木と火では、木のほうが陽気が弱いので、木は「陽中の陰」になり、火は「陽中の陽」とみなされる。同じく、金と水では金のほうが陰気が弱いので、金が「陰中の陽」、水が「陰中の陰」になる。http://www.fafner.biz/act9_new/fan/report/ai/oni/inryohogyoh.htm (2021年1月30日確認)。

23) 「還暦(本卦還り)」とは、干支(十干十二支)が一巡し誕生年の干支に還ること(誕生後60年を経て再び生まれた年の干支に還ることを意味する。数え31歳を半還暦・数え121歳を大還暦と表現する。西洋では、60周年の祝いにダイヤモンドを贈る風習もある(結婚60周年はダイヤモンド婚式とも呼ばれる)。

3 6 は、スポーツや芸術の領域でも、広く共通基準とされている。

フィギュア・スケートの採点法²⁵⁾をみると、2003-2004年のシーズンまで、「6.0ルール」（6.0を満点とした相対評価の採点システム）が採用されていた。6点満点方式とは、技術点（テクニカル・メリット）および芸術点（プレゼンテーション）のそれぞれにつき、審判がそのつど6点満点で採点する方法をいう。6点満点方式が採用された理由は、フィギュア・スケートのスポーツとしての特性²⁶⁾に求められていた。すなわち、フィギュア・スケートでは、「フィギュア」という言葉が示すように、図形を描くスケートイング技術が重視されていた。シンプルな8の字を基本形としたコンパルソリーの場合、左右の円を1点とし、左右に3つずつ計6個の円を描くというやり方で、3本のトレースが真円で完璧に重なり合った者に6点満点が与えられた（0点：滑走しないもの、1点：非常に劣るもの、2点：劣るもの、3点：中程度のもの、4点：良いもの、5点：非常に良いもの、6点：傑出したもの）。しかし、2002年のソルトレーク・シティー五輪におけるペア競技の採点に不正があったのではないかと疑われたため、現行の採点方式（ジャンプ、ス

<https://kanreki.info/gift/kanreki.html>（2021年1月30日確認）。

- 24) 干支の43番目。「丙」は西暦の末尾が6の年に訪れる。その中の「午年」を「丙午」という。「丙」には「太陽・派手で華やか」という意味があり、太陽のように生命力に溢れて、活発な様子を表す。「丙午」は「丙」が持つ肯定的要素が、「午」と組み合わせたり、さらに活発となるという意味を持つ。この年は火災が多く、この年に生まれた女性は気が強く、夫を食い殺すという迷信があった。算命学によれば「丙午に生まれた女性は性格がきつく男性を食い殺してしまう運命」と言われる。食い殺すというのは比喩表現で、「男性を疲れさせて短命にする」または「男性よりも強運で、女性の方が目立つ」の意。<https://biz.trans-suite.jp/20252>（2021年1月30日確認）。
- 25) <https://kotobank.jp/word/%E3%83%95%E3%82%A3%E3%82%AE%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%82%B9%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AE%E6%8E%A1%E7%82%B9%E6%B3%95-188750>（2021年1月30日確認）。
- 26) <http://kobeunivefigure64th.web.fc2.com/kyuusaitenn.html>（2021年1月30日確認）。

ピン、ステップ・シークエンス、スパイラル・シークエンスといった演技要素（エレメンツ）を細分化して、エレメンツごとに基礎点を設定し、出来具合により審判がマイナス3～プラス3までの7段階の加点・減点を行う方法）に改められた。こうみると、当初の6の採用には実質的な意味があったことが分かる。これに対して、現行の採点方式では円の数が考慮されていないため、6に拘泥する理由がなくなったものと考えられる。

サッカー競技でも6が基準とされている。国際サッカー評議会（The International Football Association Board (IFAB)）²⁷⁾ 制定の「サッカー競技規則（Laws of the Game）」²⁸⁾ 第12条「ファウルと不正行為」によれば、「ゴール・キーパーが自分のペナルティーエリア内で……反則……を犯した場合、間接フリーキックが相手チームに与えられる。」として、違反行為の冒頭に「自分のものとしたボールを放すまでに、手で6秒を超えてコントロールする」行為が挙げられている。ボールを「自分のものとした」ゴール・キーパーは6秒以内にボールを手放さなければならないという禁止規定を意味する「6秒ルール」の立法趣旨が試合の遅延防止にあることは明らかであるが、「5秒」でも「10秒」でもなく、許容時間の上限として「6秒」が採用された根拠がどこにあるのかは明らかではない。

バレーボール²⁹⁾が日本に初めて紹介された1910年頃はまだルールが明確に定められていなかった。当初、1チームの人数は明確に定められておらず、試合当日に集まった者が同数から成る2チームに分かれ、試合を行っていた。その後、独自のルールが作られた日本では、最初、1チーム4人×4列の16人制の試合が行われていたが、後に12人制に移行した。1924年に開始された明治神宮大会では9人制が採用され、協調性を養うスポーツ

27) <https://www.theifab.com/home>（2021年1月30日確認）。

28) <https://www.jfa.jp/documents/>; <https://www.theifab.com/log-documents>（2021年1月30日確認）。

29) <https://www.jva.or.jp/play/beginner.html>（2021年1月30日確認）。

として中学や高校の体育の授業というかたちで9人制バレーボールが全国に普及した³⁰⁾。このように、日本が国際バレーボール連盟に加盟した1951年当時、日本のバレーボールの主流は9人制であった。これに対し、国際バレーボール連盟 (Fédération internationale de volley-ball (FIVB))³¹⁾ が1947年に制定した「国際ルール (Rules of the Game)」³²⁾ では、攻撃用のスパイクを打てない選手 (リベロ) を含めれば7人となるが、コート内のプレーヤーを6人とする6人制が採用されていた³³⁾。国際バレーボール連盟への加盟後、日本でも6人制が普及した。コート面積との関係で外国人選手の大形化した体形が国際ルールにおける6人制採用の原因となったか否かは明らかではない。このようにみると、6という数に格別の思想的意味があったようにはみえない。

4 芸術の分野でも6が部分的に使用されている。オクターブに6つの音が含まれる音階 (6つのピッチクラスによって構成されている音階)、すなわち、構成音を順にたどると、7つめの音で最初の音のオクターブ上 (または下) の音に達する音階を六音音階と言う。世界各地の民族音楽をみると、素朴な民謡には五音音階が多く、また各地の芸術音楽にはさまざまな七音音階が比較的多く見出されており、六音音階の採用例は相対的に少ない (西洋音楽にあって、近代以降新たに創作された六音音階に、全音音階、移調の限られた旋法第5番がある。)³⁴⁾。6の採用根拠はおそらく音感など芸術的要因に基づくものと推測される。

30) <http://sportsneta.com/volleyball-ninzu> (2021年1月30日確認)。

31) <https://www.fivb.com/> (2021年1月30日確認)。

32) https://www.fivb.com/en/refereeingandrules/rulesofthegame_vb; (2021年1月30日確認)。; http://www.fivb.org/EN/Refereeing-Rules/RulesOfTheGame_VB.asp; (2021年1月30日確認)。; https://www.fivb.com/en/refereeingandrules/rulesofthegame_vb (2021年1月30日確認)。

33) <https://www.jva.or.jp/play/beginner.html> (2021年1月30日確認)。

34) <https://kotobank.jp/word/6%E9%9F%B3%E9%9F%B3%E9%9A%8E-1440433> (2021年1月30日確認)。

楽器の場合ではどうか。弦楽器の弦の本数は一様ではない³⁵⁾。6本の弦が張られている楽器にはベース・ギターやアコースティック・ギターがある。弦の太さをみると、6弦が最も太く、1弦に向かって次第に細くなる³⁶⁾。弦を細く、短く、強く張れば、音は高く、逆に、太く、長く、弱く張れば、音は低くなる。1本の弦から始まったこの楽器は、幅広い音域を出せるよう、弦を増やし、太さを変えながら改良されてきた。かつては4本の弦が張られた時代があり、また5弦のギターもあった。太い弦を張るためには、本体の長さや強度が必要となる。部品や技術が進化したことでギターのサイズは大きくなり、18世紀後半-19世紀に、現在の6弦ギターが生まれた。今日では7弦ギターも見られるようになっている。このようにみると、6の使用に思想的背景はないことが分かる³⁷⁾。

このほか、社会生活を送る際にパワーハラスメントなどを避けるため、自分の感情をコントロールする方法として、6秒ルールが提案されている。6秒説の根拠は、「怒りの感情が生まれたとき、理性が介入して冷静になるまでに6秒ほどかかる」³⁸⁾という心理状況に求められている。以上の6の採用例をみると、60進法や6人制、6秒ルールなどの採用に関して、「……

35) 1本(一弦琴)、2本(二胡、二弦琴)、3本(三味線、バラライカ)、4本(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、ウクレレ、リュート)、5本(バンジョー、大正琴、リュート)、6本(ギター、和琴、リュート)、7本(七弦琴、リュート)、8本(マンドリン、マンドラ、マンドローネ、プーズキ)、10本(チャランゴ)、12本(12弦ギター)、13本(十三弦(箏))、14本(リュート)、15本(ギター(2オクターブの標準型))、17本(十七弦(箏))、19本(ルネッサンスハープ、アイリッシュハープ)、37本(アルパ)、<http://www.musical.jp/harp/harp-afs/fl6.htm> (2021年1月30日確認)、46本(グランドハープ(セミグランドハープ))、47本(グランドハープ)。

36) <https://guitar-hakase.com/strings/> (2021年1月30日確認)。

37) <https://music-happy-life.com/number-of-guitar-strings/> (2021年1月30日確認)。

38) <https://textview.jp/post/life/41187>; <https://www.angermanagement.co.jp/blog/44529> (2021年1月30日確認)。

とき」(要件) ➡ 「60進法や6人制, 6秒ルールを採用する」(効果) という判断基準の前提に, 「……とき」(要件) ➡ 「他国の例に倣う(既存のルールを模倣する)」(効果) 旨の形成基準(類型(1))を見出すことができよう(ここでは, 60進法が「既存のルール」に該当する。)

Ⅲ 地 域

1 日 本

(1) 六 法

1 法律に関心を抱く者であれば誰でも, 6 という数からすぐに, 「六法」という言葉を連想されることであろう。改めて指摘するまでもなく, 六法とは, わが国の主要な6つの法律を表す。この語は, 形式的意義では憲法, 民法, 商法, 刑法, 民事訴訟法および刑事訴訟法を指し, 転じて, 実質的意義では上記6法典に対応する6つの法分野を意味する。「六」が用いられた事情については, 明治新政府の参議を務めていた副島種臣の指示を受けた箕作麟祥により, 明治2(1869)年から同7年にかけて行われたフランスの基本法典翻訳事業(ナポレオン五法典——刑法, 民法, 商法, 治罪法(刑事訴訟法)および訴訟法(民事訴訟法)——ならびに憲法典)の成果(『仏蘭西法律書』, 1870年~1875年)に由来すると解説されている³⁹⁾。もっとも, 当初, 収録を予定されていた行政法典が未完成に終わったために6法典の翻訳にとどまったという事情を考慮すると, 「六法」に代えて, 「七法」と表現される可能性があったこととなろう。

2 他方で, 「六法」という言葉は, 「六法全書」⁴⁰⁾という言葉の短縮形として, 上記の六法典を含むさまざまな法令を収録した法令集(「六法全書」)

39) 山口亮介「明治初年の西洋法翻訳：箕作麟祥の試み」(<https://yab.yomiuri.co.jp/adv/chuo/research/20200312.php> (2021年1月30日確認))

40) 『六法全書』(有斐閣), 『ポケット六法』(有斐閣), 『判例六法』(有斐閣), 『模範六法』(三省堂)。

という意味で用いられている。この意味での「六法」という言葉は個別法分野ごとに用いられることもある（『戸籍六法』⁴¹⁾、『戸籍実務六法』⁴²⁾、『社会福祉六法』⁴³⁾、『環境六法』⁴⁴⁾他）。このようにみると、ここでの6の使用はまったくの偶然の事情によるものであり、格別の思想的背景を持たないことが分かる。

(2) 実定法源

1 わが国の実定法源をみると、6の採用例を容易に見出すことができる。日本国憲法⁴⁵⁾は、「参議院議員の任期は、6年とし、3年ごとに議員の半数を改選する。」(第46条)旨、規定する。6が用いられた事情は、日本国憲法の編纂過程から、容易に推測されよう。というのは、日本国憲法の制定過程に大きな影響を及ぼしたアメリカ合衆国の法制上、同国連邦議会上院議員の任期が6年と定められているからである⁴⁶⁾。むろん、こうした推測が成り立つか否かという点はすべて歴史的検証に委ねられなければならない。

2 6という数字からすぐに連想される今ひとつの例は、「小学校の修業年限は、6年とする。」と定める学校教育法⁴⁷⁾第32条である。ここでは、

- 41) テイハン法令編纂部戸籍実務研究会編『戸籍六法 令和3年版』(テイハン、2020年)。
- 42) 日本加除出版法令編纂室『令和3年版 戸籍実務六法』(日本加除出版、2020年)。
- 43) 社会福祉法規研究会編『令和3年版 社会福祉六法』(新日本法規、2020年)、『ミネルヴァ社会福祉六法2020 [令和2年版]』(ミネルヴァ書房、2020年)他。
- 44) 大塚直・北村喜宣・高村ゆかり・島村健 編集『ベーシック環境六法』(第一法規、2018年)、『環境六法 令和2年版』(中央法規出版、2020年)他。
- 45) <https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=321CONSTITUTION> (2021年1月30日確認)。
- 46) <https://www.us-lighthouse.com/life/daijiten/school-and-education-system.html> (2021年1月30日確認)。
- 47) https://elaws.e-gov.go.jp/document?law_unique_id=322AC000000026_2020

アメリカ合衆国の学制は参考になり得ない。というのは、アメリカの学校システムでは、一般に、グレード（学年）1～5を小学校、グレード6～8を中学校、グレード9～12を高校とする分け方が採用され、また、グレード1～8は「プライマリー・エデュケーション」、9～12は「セカンダリー・エデュケーション」、高校は、「ハイスクール」や「セカンダリー・スクール」と呼ばれているからである⁴⁸⁾。小学校6年制の立法根拠は、むしろ、1907年（明治40年）3月21日付け「小学校令中改正ノ件」（明治40年勅令第52号）により、高等小学校の旧1・2年を尋常小学校の新5・6年に改めるという形式で尋常小学校の修業年限（義務教育期間）が2年延長され、6年間となった⁴⁹⁾という歴史的経緯に求められる。すなわち、1900年（明治33年）の小学校令⁵⁰⁾制定時すでに、従来の修業年限（4年）では義務教育の本旨を全うすることが難しいとして年限延長の必要性が自覚されていたものの、4年の義務教育自体が普及していなかったため、義務教育期間の延長を先送りし、その準備として尋常小学校に修業年限2年の高等小学校を併置することが奨励されていた。その後、4年の義務教育が浸透し、さらに尋常小学校に高等小学校を併置した尋常高等小学校の数も増加したことから、義務教育年限が6年間に延長された。6年間では足りないとの意見があったものの、1907年（明治40年）当時の社会的・経済的状況が考慮されて、義務教育期間が暫定的に6年とされ、更なる延長は将来に委ねられた。このような経緯をみると、6という数が教育政策的というよりも社会政策的配

0401_501AC0000000044（2021年1月30日確認）。

48) 高校4年間は、それぞれ別称があり、グレード9は「フレッシュマン」、10は「ソフォモア」、11は「ジュニア」、12は「シニア」と呼ばれる。<https://www.us-lighthouse.com/life/daijiten/school-and-education-system.html>（2021年1月30日確認）。

49) https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318019.htm（2021年1月30日確認）。

50) https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1318017.htm（2021年1月30日確認）。

慮に基づいて選ばれていたことが分かる。

それでは、同じ学校教育法で「中等教育学校の修業年限は、6年とする。」（第65条）と定められたのはなぜなのだろうか。この規定の背景には、中高一貫教育⁵¹⁾を行う場合、中学校と高等学校のそれぞれが最低1校ずつ必要であったため、私立の中学校・高等学校の併設校でカリキュラムを大幅に調整した中高一貫教育を行う学校が少なくなかったところ、中学校から高等学校に相当する教育を一貫して施せるよう、単一の学校として設置することを認めた1998年6月の学校教育法の改正⁵²⁾があった。このことは、「中等教育学校の課程は、これを前期3年の前期課程及び後期3年の後期課程に区分する。」（第66条）と定めた規定が設けられていることから明らかになる。ここでの6は、 $3+3=6$ という算術計算の結果であり、6それぞれに格別の思想的意味はないことが分かる⁵³⁾。

-
- 51) この一貫教育は、イギリスのパブリック・スクール、ドイツ連邦共和国およびオーストリア共和国のギムナジウム、オランダのVWO（大学進学教育、大学準備中等教育）およびHAVO（上級一般中等教育、高等一般教育）等に相当するものと位置付けられる。オランダの学生については、<https://www.iamexpat.nl/education/primary-secondary-education/dutch-school-system>（2021年1月30日確認）。
- 52) 学校教育法等の一部を改正する法律（平成10年法律第101号、平成10年6月12日公布、平成11年4月1日施行）https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2009/07/07/1280769_002.pdf（2021年1月30日確認）；https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/3/980601.htm（2021年1月30日確認）。
- 53) 6という数に算術計算以外の意味を見出したい同種の立法例として、2012年7月9日以降、再入国許可有効期間の上限を「4年」から「6年」に伸ばした、日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法第23条がある。そこでは、「特別永住者に関しては、入管法第26条第3項中「5年」とあるのは「6年」と、同条第五項中「6年」とあるのは「7年」とする。」と規定されている（<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=403AC0000000071>；http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_2/（2021年1月30日確認））。

学校教育法の一部を改正する法律（平成16年法律第49号）の施行に伴い、2006年から、薬剤師養成のための薬学教育の修業年限が6年に変更された。医療専門家を養成する学部（医学部、歯学部、獣医学部）では、学修内容・学修量等が考慮され、一般に6年制が採用されている（薬学部でも、製薬研究者志望者の場合、4年制が維持されている。）。6年説の根拠は、学士課程4年＋修士課程2年＝6年という計算上の処理にあったようにみえる。こうした理解に誤りがないとすると、6年制は算術的配慮の結果であったことが分かる。

3 このように、6という数字に算術計算以上の意味を見出せないようにみえる例はほかにもある。たとえば、裁判員の参加する刑事裁判に関する法律（通称：裁判員法）⁵⁴第2条第2項本文（「前項の合議体の裁判官の員数は3人、裁判員の員数は6人とし、裁判官のうち一人を裁判長とする。ただし、次項の決定があったときは、裁判官の員数は一人、裁判員の員数は4人とし、裁判官を裁判長とする。」）がそうである。この場合、6人という人数は、単純に、裁判官の人数3を2倍した数を意味するものと考えられる。また、同項では、裁判員の人数が6人とされているが、公訴事実について争いがないと認められるような事件（自白事件）については6人を4人に減じることが同項但書に記されている。このことは、6と4とが代替的關係にあり、6に絶対的な意味がないことを示すものと考えられる。このようにみるのは、より良い社会を実現するための手段として司法への国民参加を位置付けているという点に、裁判員制度の目的があり、その趣旨を実現し得る人数如何については予算措置など別個の事情が影響しているのではないかと推測されることによる。

わが国の歴史的伝統との関連性如何という点からは、皇室典範もここで参照される余地がある。それは、皇室会議の定足数について「皇室会議は、

54) 平成16年法律第63号。2004年（平成16年）5月21日成立。一部の規定を除いて5年後の2009年（平成21年）5月21日施行。<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=416AC0000000063>（2021年1月30日確認）。

6人以上の議員の出席がなければ、議事を開き議決することができない。」(第34条)と定められているからである。しかしながら、この「6」という数にも、皇統に関わる思想的意味があるようにはみえない。それは、皇室会議の人的組織について「皇室会議は、議員10人でこれを組織する。」(第28条)と定めた規定のもとで「過半数の出席をもって定足数を充たす」という過半数原則との関連で必要とされた数値とみる余地があるからである。以上のどの例も、前の項で触れたように、各論点に関する判断基準であって、当該判断基準の始原的形成基準ではなかった。こうみると、ここには法文化の例を見出しがたいようにみえる。

(3) 6の使用例

1 日本の貨幣のうち、硬貨6種の合計は、1円+5円+10円+50円+100円+500円=666円である⁵⁵⁾。ここでの6は、1と5があればすべての数を表現できるという考えのもとに、単純な数量計算の結果として導かれた数である。このことは、紙幣のうち、1,000円札、5,000円札および10,000円札について当てはまる。1+5=6の例外として、わが国では沖縄サミット開催を記念して2,000円紙幣が発行された(2000年7月19日)。それは、欧米で2のつく貨幣が発行されかつ流通している例に倣う⁵⁶⁾と同時に、現金の流通に要する紙幣を節約できる⁵⁷⁾と考えられたからであった。2,000円

55) https://www.boj.or.jp/note_tfjgs/note/valid/issue.htm/ (2021年1月30日確認)。

56) アメリカ合衆国の紙幣(1, 5, 10, 20, 50, 100ドル)および硬貨(1, 5, 10, 25, 50, 100セント(100セントは\$1))にも、連合王国の紙幣(£5, £10, £20, £50ポンド(スコットランドとチャネル諸島のみ£1紙幣もある))および硬貨(1p, 2p, 5p, 10p, 20p, 50p(ペニー), £1, £2)にも、EUの紙幣(5, 10, 20, 50, 100, 200, 500ユーロ)および硬貨(1, 2, 5, 10, 20, 50セント, 1, 2ユーロ)にも、中国の紙幣(1角, 5角, 1元, 5元, 10元, 20元, 50元, 100元)および硬貨(1分, 2分, 5分, 1角, 5角, 1元)にも、「2」、「20」、「200」のように、2の付く数が使われている。

紙幣は、表の図柄に沖縄首里城の守礼門が採用された沖縄県を除き、全国的にみてさほど流通していない⁵⁸⁾。こうみると、硬貨発行が6種類に限定された背景に思想的根拠はないことが分かる。

2 わが国の歴史にも6の使用例が見出される。古代日本の律令国家が編纂した6つの一連の正史、すなわち、奈良・平安時代に編纂された『日本書紀』、『続日本紀』、『日本後紀』、『続日本後紀』、『日本文徳天皇実録』および『日本三代実録』という官撰の6種の国史は、総称して「六国史」と呼ばれている⁵⁹⁾。この場合、「六」への着目に際して、中国からの影響を見てとれるのだろうか。

古代日本の律令制では、「六十六国」が設けられていた⁶⁰⁾。推古天皇の時代に聖徳太子の名により、それまで33国に分国されていたものを、「法華経世界の具現化」のために無理矢理に倍の66国に分けたとされている。66の国は国力・経済力などで大国・上国・中国・下国に分類されていた。

57) 9000円を準備する場合、紙幣9枚(1,000円札9枚)また5枚(5,000円札1枚と1,000円札4枚)が必要とされるが、2,000円札があれば、3枚(5,000円札1枚と2,000円札2枚)で済む。

58) <https://toyokeizai.net/articles/-/315309> (2021年1月30日確認)。

59) 坂本太郎『六国史』(日本歴史叢書27)(吉川弘文館, 1970年, 新装版1994年12月)<https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=124> (2021年1月30日確認)。

60) 【大国】大和国・河内国・伊勢国・武蔵国・上総国・下総国・常陸国・近江国・上野国・陸奥国・越前国・播磨国・肥後国の13カ国。【上国】山城国・摂津国・尾張国・三河国・遠江国・駿河国・甲斐国・相模国・美濃国・信濃国・下野国・出羽国・加賀国・越中国・越後国・丹波国・但馬国・因幡国・伯耆国・出雲国・美作国・備前国・備中国・備後国・安芸国・周防国・紀伊国・阿波国・讃岐国・伊予国・豊前国・豊後国・筑前国・筑後国・肥前国の35カ国。【中国】安房国・若狭国・能登国・佐渡国・丹後国・石見国・長門国・土佐国・日向国・大隅国・薩摩国の11カ国。【下国】和泉国・伊賀国・志摩国・伊豆国・飛騨国・隠岐国・淡路国・壱岐国(島)・対馬国(島)の9カ国(2島含む)。<https://www.pinterest.jp/pin/638877897118788159/> (2021年1月30日確認)。

3 ある対象を他の対象から識別するために、当該対象に名称を付与する命名行為も、名付けが一定のルールのもとで行われがちなところから、社会行動文法のひとつに数え上げることができる。名称の一部に「六」を含む地名は多数見出される⁶¹⁾が、名付けのルール（識別基準の形成基準）という点からみると、以下のような例がある。

固有名詞の典型例としては、人名や地名が挙げられる。宇多源氏佐々木氏の流れを受け、鎌倉時代から戦国時代にかけて近江国南部を支配した守護大名・六角氏⁶²⁾の名前に「六」が用いられた由来は明らかではない⁶³⁾。東京都港区の「六本木」という地名については、(1)松の木が6本植わっていたためという説のほか、(2)6人の落武者のうちの5人がこの地にあった5本の榎の元で自害し、一人はさらに逃れて一本松の元で死んだので、5本の榎と1本の松を合わせて(1+5=6)六本木となったという説、(3)上杉、朽木、高木、青木、片桐、一柳というように、姓に樹木の名を含む大名の屋敷が6つ存在したこと由来するといった説などが知られている⁶⁴⁾。これらは、樹木や人間の数に基づく名称付与の例である。これに対して、兵庫県南東部の「六甲山」については、(1)アイヌ語の「ムク」という植物が語源である(「ム」が6を意味する。)という説、(2)神功皇后が朝鮮遠征から帰還する途上、反乱者6人を捕らえ、その首と兜を埋めたという伝説に由来するという説、(3)大阪から見て向こう側にある武庫川の「むこ」という言葉に「六甲」という字が当てられ、それがいつしか「ろっこう」と読まれるようになったという説などがある⁶⁵⁾。六本木の場合、数量計算の結

61) http://various-investigation.blogspot.com/2015/12/blog-post_14.html (2021年1月30日確認)。

62) <http://www2.harimaya.com/sengoku/html/rokkaku.html> (2021年1月30日確認)。

63) <https://myoji-yurai.net/searchResult.htm?myojiKanji=%E5%85%AD%E8%A7%92>

64) <https://chimei.kkf.co.jp/archives/348> (2021年1月30日確認)。

65) <https://www.gekkoen.co.jp/blog/archives/4162> (2021年1月30日確認)。

果であることが分かるが、六甲山の場合、「六」の採用に数量的根拠はなく、「む」という発音を表す漢字として「六」が便宜的に用いられたとも考えられよう。

4 これら数量に基づく名称付与と異なり、中国の古典に基づく名称付与例もある。

国の特別名勝「兼六園」⁶⁶⁾は、17世紀中期、加賀藩によって金沢城外郭に造営された藩庭を基礎とし、江戸時代を代表する池泉回遊式庭園として知られている。「兼六園」という名称の由来については、(1)1822年（文政5年）、加賀藩主・前田斉広の依頼に応じて白河藩主・松平定信（白河落翁）により付与されたという説、(2)松平定信は「兼六園」の額字を執筆しただけで、命名は前田斉広であったという説等がある⁶⁷⁾。「兼六」という名称については、宋の詩人・李格非が『洛陽名園記』の中で中国洛陽の名園「湖園」を「宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望の六つを兼ね備える名園」⁶⁸⁾と謳った文⁶⁹⁾に由来すると説明されている⁷⁰⁾。

66) 後楽園（岡山市）および偕楽園（水戸市）と並ぶ日本三名園のひとつ。
<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/>（2021年1月30日確認）。

67) 松平定信自筆の「花月日記」（文政5年（1822年）9月20日）には、「加賀の大守より額字をこふ。兼六園とて、たけ三尺二横九尺也。……兼六と高いかがと、とひにやりぬ。」と記され、兼六園の額字を頼まれた松平定信が兼六園の意味を知らなかったこと、この時点ですでに兼六園という名前があったことが示されている。

68) 「すぐれた景観の代名詞『六勝』」については、「六勝とは、[宏大] [幽邃] [人力] [蒼古] [水泉] [眺望] のこと。宋の時代の書物『洛陽名園記』には、「洛人云う園圃の勝 相兼ねる能わざるは六 宏大を務るは幽邃少なし 人力勝るは蒼古少なし 水泉多きは眺望難し 此の六を兼ねるは 惟湖園のみ」という記述があります。その伝えるところは、以下の通りです。「庭園では六つのすぐれた景観を兼ね備えることはできない。広々とした様子（宏大）を表そうとすれば、静寂と奥深さ（幽邃）が少なくなってしまう。人の手が加わったところ（人力）には、古びた趣（蒼古）が乏しい。また、滝や池など（水泉）を多くすれば、遠くを眺めることができない」そして、「この六つの景観が共存

東京都文京区本駒込にある「六義園」⁷¹⁾の場合も、中国の古典との関係がみられる。「六義園」という名称は、(1)『詩経』の「六義」に由来するという説のほか、(2)自らも和歌に造詣が深かった柳沢吉保が、『古今和歌集』の紀貫之による序文で、「六義」という和歌の6つの基調を表す語に着目し、紀州の和歌浦を中心とした美しい歌枕の風景を写した庭園としてこの「六義」を再現しようと考えたという説も知られている。それでは、紀貫之はなぜ「6つの基調」に着眼したのだろうか。『詩経』では、漢詩の分類法として、3とおりの体裁(「風」、「雅」、「頌」)と3とおりの表現(「賦」、「比」、「興」)が構想されていた。紀貫之はこの3+3=6に着眼して、和歌の六体の基調を表したようにみえる。

5 同じく中国に起源を有する6の使用例には仏教との関わりも見出される。

しているのは湖園^{こえん}だけだ」と結ぶのです。すばらしい景観を持った庭園として賞された湖園。兼六園は、この湖園に似つかわしく、六勝を兼ね備えているという理由から、文政5年(1822)、その名を与えられました。」と解説されている。<http://www.pref.ishikawa.jp/siro-niwa/kenrokuen/6place.html> (2021年1月30日確認)。

69) 「洛人云、園圃之勝、不能相兼者六

務宏大者少幽邃、人力勝者少蒼古、多水泉者艱眺望

兼此六者、惟湖園而已」

(洛人の云ふ、園圃の勝、相ひ兼ねるあたはざるは六。宏大を務むるは幽邃少なし、人力勝れるは蒼古少なし、水泉多きは眺望艱し。この六を兼ねるは、ただ湖園のみ。)

70) 最初の作者者、五代藩主・綱紀は、瓢池に蓬萊・方丈・瀛州の三神仙島を築いた。ここでは、6と3との関係(3+3=6、3×2=6)も検討される必要がある。

71) 東京都文京区本駒込6丁目に所在する東京都立の庭園。江戸時代の大名庭園の代表例として知られるこの庭園は、1695年に、徳川五代将軍・徳川綱吉の側用人・柳沢吉保が綱吉から下賜された地に自らの下屋敷を設けた際に造営された。江戸初期に完成した桂離宮の庭園の様式を採用した回遊式築山泉水庭園として知られる。園内に建てられた御殿は六義館と名付けられた。<https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/spot/teien/rikugien.html> (2021年1月30日確認)。

空也上人により963年（応和3）に開かれた真言宗智山派の古刹、六波羅蜜寺⁷²⁾は、空也上人像、平清盛公坐像（ともに重要文化財）等を含む、平安、鎌倉時代の優れた彫刻が所蔵されていることで知られる。「六波羅」⁷³⁾は、古くは葬送地鳥辺野への入口に当たり、小野篁の冥土通い伝承をもつ珍皇寺の前が賽河原と伝えられ、彼岸（あの世）と此岸（この世）とを分ける境界の地とされていた。そのため、この地は古くから信仰の場とされ、六波羅蜜寺のほか、珍皇寺などの寺院や御堂も建てられた。「六波羅」には「六原」という字も当てられ、また古い地名である轆轤原^{ろくるがほら}に由来するという説明がなされた。他方で、彼岸（悟りの世界）に到ることを意味する「波羅蜜」という仏語が先にあり、そこから、六波羅蜜寺という名が付けられ、この寺名にちなんで「六波羅」という地名が生まれたという説もある。「波羅蜜」を含む「六波羅蜜」⁷⁴⁾も仏教用語で、この場合の「六」は、この世に生かされたまま、「仏様の境涯」に到るための六種類の修行⁷⁵⁾を意味する。こ

72) 西国33ヵ所第17番札所。醍醐天皇の第二皇子、光勝空也上人が951年（天暦5年）に開いた西光寺を前身とする。<https://rokuhara.or.jp/>; https://ja.kyoto.travel/tourism/single02.php?category_id=7&tourism_id=493; (2021年1月30日確認)。

73) <https://www2.city.kyoto.lg.jp/somu/rekishi/fm/nenpyou/htmlsheet/toshi09.html> (2021年1月30日確認)。

74) <https://www.rokuhara.or.jp/rokuharamitsu/> (2021年1月30日確認)。

75) 6種類の修行とは、布施（貪欲の気持ちを抑え、見返りを求めず、応分の恵みを施すこと）、持戒（人が造る道徳・法律等に依らず、高度な常識を持ち、瞬時瞬時に自らを戒めること）、忍辱（苦痛の多い現代社会において、自らが他の存在に生かされていることを自覚し、全ての人の心を我が心とする仏様の慈悲を考え、如何なる辱めにも堪え忍ぶこと）、精進（ひとときも無駄にすることなく、日々誠心誠意、不断の努力を尽くすこと）、禪定（冷静に第三者の立場で自分自身を見つめること）、智慧（貪りや怒り、愚痴によって大切な智慧を曇らせず、布施・持戒・忍辱・精進・禪定の修行を実践しどちらにもかたよらない中道を歩むこと）を言う。<https://www.rokuhara.or.jp/rokuharamitsu/> (2021年1月30日確認)。

のようにみると、6には数量的意味に加え、仏教的意味も付与されていることが分かる。

日本の地名に現れる⁷⁶⁾「六地藏」もこの系譜に属する。「六地藏」⁷⁷⁾は仏語で、六道のそれぞれにあつて衆生の苦しみを救う6体(6分身)の地藏菩薩をいう。人は皆、生前の行為の良し悪しによって、死後に、地獄、畜生、餓鬼、修羅、人、天という六道の境涯を輪廻、転生する。この六道のそれぞれを表すのが衆生救済のために配された6体の地藏(地獄道の檀陀、餓鬼道の宝珠、畜生道の宝印、修羅道の持地、人間道の除蓋障、天道の日光)である。なお、六地藏の信仰は、六道思想の発達に刺激されて日本で独自に形成されたものであつて、中国にはみられない。六地藏に関する最初の具体的記述としては、11世紀中頃の実睿撰『地藏菩薩靈驗記』において、「六道の衆生のために六種の形を現せり」として各尊の持物や印についての説明が知られている。12世紀になると、六地藏の記載が往生伝や貴族の日記に記されるようになり、また中尊寺など六地藏を安置する寺院も現れるようになった⁷⁸⁾。

「六神丸」⁷⁹⁾は、生薬を原料にした臓器薬である。六神丸の名前は成分が牛黄(牛の胆石)、蟾酥(ヒキガエルの皮腺から分泌する液)、牛胆(牛の胆嚢)、鹿茸(鹿の幼角)、人參(朝鮮人參)、沈香(沈丁花科の香木)の6つの神薬(高

76) 「六地藏」という地名は、千葉県長生郡長柄町、滋賀県栗東市、京都府宇治市、兵庫県豊岡市、愛知県岡崎市などにみられる。また、京都市伏見区にある大善寺(伏見六地藏)に由来する「六地藏駅」は、京阪電気鉄道(京阪)、宇治市にある西日本旅客鉄道(JR西日本)、京都市地下鉄の駅名である。

77) <https://kotobank.jp/word/%E5%85%AD%E5%9C%B0%E8%94%B5-152636> (2021年1月30日確認)。

78) <https://tenant-plus.com/contents/topics/%E3%80%8C%E5%85%AD%E5%9C%B0%E8%94%B5%E3%80%8D%E3%83%9B%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AB%E5%85%AD%E4%BD%93%E3%81%AE%E5%9C%B0%E8%94%B5%E3%81%8C%E3%81%82%E3%82%8B%E3%82%93%E3%81%A7%E3%81%99/> (2021年1月30日確認)。

79) https://www.kegg.jp/medicus-bin/japic_otc?japic_code=J0601011736 (2021年1月30日確認)。

価で貴重な薬)でできていることに由来するという説のほか、中国の四神(青龍、白虎、朱雀、玄武)に勾陳と騰蛇を加えた六神に由来するという説がある⁸⁰⁾。ここでも、6には中国の伝統が反映されている。

6 これに対して、6の採用に中国との関わりがないものもある。

暦の中でも有力な暦注とされるものに「六曜」⁸¹⁾がある。六曜はもともと中国で「時間」を区切る際に使われていた考え方で、日本に伝承された当初も時間の吉凶を占う指標として用いられていた。六曜の起源については諸説あるが、14世紀の鎌倉時代に中国から日本に伝来した。その後、江戸時代に入って六曜の暦注が流行し、その名称や解釈・順序は少しずつ変化してきた。この暦では、「先勝」、「友引」、「先負」、「仏滅」、「大安」、「赤口」の6種の曜を「六曜」とする。現代の日本では、「六曜」が日にちの吉凶を占う指標として利用され、主に冠婚葬祭(「結婚式は大安がよい」、「葬式は友引を避ける」)などの儀式と結び付けられている。六曜のそれぞれに、「日」としての吉凶に加え、一日の時間帯の中での吉凶も設けられている。

仏教では、占いを盲信して本質が疎かになればかえって悪い結果になるとして、占いは否定されている。日本仏教の浄土真宗では親鸞が「日の吉凶を選ぶことはよくない」と和讃で説いたため、迷信、俗信一般が退けられている。仏教においては本質的に因果関係によって物事が決まり、六曜が直接原因として物事を左右することはないとする。このため、六曜は仏教に由来するものではなく、仏事と関連のあるように見える言葉(仏滅、友引など)が多いのは当て字によるものとされる。

7 戦国武将として知られる真田幸村の軍旗には「六」が使われていた。大坂夏の陣(慶長20年(1615年))終了後、「大阪夏の陣図屏風」⁸²⁾に真田の

80) <http://www.zenkoku-yakuhin.co.jp/newpage32.htm> (2021年1月30日確認)。

81) <https://tokubai.co.jp/news/articles/1563> (2021年1月30日確認)。

82) 大坂夏の陣に参戦した徳川方の黒田長政が、戦後間もなく、その記念に描かせた屏風絵(福岡藩主黒田家旧蔵品)。<https://museum.umic.jp/sanada/siryoyosandai/110305.html> (2021年1月30日確認)。

赤備えとして描かれた赤地に黒の「六文銭 (六連銭)」は、横に三つずつ並べ硬貨を上下二段に配置した家紋であった。「六文銭」は俗称で、一文の貨幣が六枚で六文分を意味する。「六文銭」の由来については、「六文銭 (六道銭) は三途の川の渡し賃、つまり通行料とされており、死者を葬るときに遺体と一緒に埋めるもの……真田氏は家紋に六文銭を用いることで、戦争や日頃の駆け引きについて、死をもいとわない不惜身命の決意で望んでいることを示していた」と説明されている⁸³⁾。「三途の川の渡し賃」として死者に携えさせる副葬品として紙に印刷した六連銭を納棺する例も知られている⁸⁴⁾。この点については、ギリシア神話に登場するアケローン川 (悲嘆の意味、三途の川) の渡し守、カローンが冥界の入口まで死者を運ぶ際に死者の口の中 (舌の下) に入れられた渡し賃が1オボロスであったことが連想される⁸⁵⁾。むろん、ここで検討されるべきは、6と1との意味如何であって、六文と1オボロスとの為替相場 (交換比率 (交換レート)) ではない。

大相撲⁸⁶⁾の年間本場所開催数 (6場所制) はどのような経緯によるのだろうか。大正末期までの開催回数は年2場所であった。昭和に入ってから大阪相撲と合併したことで、年4場所になった (東京本場所が2場所、地方開催が2場所) が、昭和8年以降、再び東京2場所制に戻った。その後、第二次世界大戦下で、昭和19年は3場所、翌20年は2場所、21年は1場所となり、戦後の混乱期になると、昭和22年、23年ともに2場所、24年からは年3場所に、28年からは3月場所が加わって年4場所になった。昭和32年には九州場所が加わって年5場所に、翌33年からは名古屋場所も加わっ

83) この軍旗は、真田幸村が大坂夏の陣への出陣に際して日蔭大明神に戦勝を祈願した折に、刀剣とともに奉納された。 <https://www.shikinagayoshi-jinjya.org/treasure.html> (2021年1月30日確認)。

84) <https://sengoku-his.com/539#link3> (2021年1月30日確認)。

85) Großfeld, Zeichen und Zahlen im Recht (前注**) S.57 (グロスフェルト (山内訳)・前掲書 (前注*) 71頁)。

86) <http://www.sumo.or.jp/> (2021年1月30日確認)。

て年6場所となり、現在に至っている⁸⁷⁾。このような場所数の変化をみると、戦争などの社会環境の変化や国技とされた相撲に対する国民の関心の高まりなどが本場所の開催数に影響を及ぼしていたこと、言い換えれば、6場所制の採用に格別の思想的背景があるようにはみえないことが読み取れる。

競艇にも6という数が現れている。競輪・競馬・オートレースと並ぶ公営競技である競艇は、モーターボート競走法（昭和26年法律第242号）⁸⁸⁾、モーターボート競走法施行規則（昭和26年運輸省令第59号）⁸⁹⁾等のもとで、プロの競艇選手によって行われている。ボートレースは6艇で走ることが基本とされ、枠ごとに色が決められている（艇番とカラー：1号艇 白色、2号艇 黒色、3号艇 赤色、4号艇 青色、5号艇 黄色、6号艇 緑色）⁹⁰⁾。この場合、6が選ばれたのはなぜだろうか。

8 最後に、6つの組合せをひとつの単位（6個1組（sextet））とするいくつかの例を見ておこう。音楽の分野では、六重唱⁹¹⁾や六重奏（弦楽六重奏⁹²⁾、ピアノ六重奏⁹³⁾、金管六重奏⁹⁴⁾）が知られている。日本の男性アイドル・

87) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1448184814（2021年1月30日確認）。

88) <https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=326AC1000000242>（2021年1月30日確認）。

89) <https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=326M50000800059>（2021年1月30日確認）。

90) <https://boat-race-navi.net/archives/206>（2021年1月30日確認）。

91) 6人の歌手が同時に歌う歌唱形式(<https://ameblo.jp/mr-petit-samurai/entry-10850479425.html>（2021年1月30日確認））。

92) ヴァイオリン2, ヴィオラ2, チェロ2の組合せ。

93) 組合せの例としては、(1)ピアノ, ヴァイオリン2, ヴィオラ, チェロ, コントラバス, (2)ピアノ, ヴァイオリン, ヴィオラ2, チェロ, コントラバス, (3)ピアノ, フルート, オーボエ, クラリネット, ホルン, ファゴットなどがある。

94) 組合せの例としては、(1)トランペット2, ホルン, トロンボーン2, テューバ, (2)トランペット2, ホルン2, トロンボーン, テューバ, (3)トランペット2,

グループ、V6 (ブイシックス)⁹⁵⁾は6人で編成されているが、2つのグループ⁹⁶⁾に分かれて活動することもあり、ここでの6は、 $3+3=6$ という意味にも解され得る。大学スポーツに関しては、東京六大学⁹⁷⁾、関西六大学⁹⁸⁾、九州六大学⁹⁹⁾などが知られている。六歌仙とは、『古今集』の序に見える、平安初期のすぐれた六人の歌人¹⁰⁰⁾を言う。甲斐の戦国大名・武田信玄の最側近であった奥近習六人衆¹⁰¹⁾、近江国の大名・六角氏の執政を支えた六角六宿老¹⁰²⁾などもここに挙げられよう。これらを通覧すると、一方の、6という数に一定の意味があるという理解を前提として、その意味に当てはまる対象が選び出された場合と、他方の、6が数的計算の結果として現れた場合とが区別されることが分かる。それでは、和食器が5組で1セットであるのに対し、洋食器が6組で1セットとされるのはなぜだろうか。日本では、奇数を「陽」とし、偶数を「陰」とする陰陽道に基づいて、縁起が良い数を奇数に求めてきた。節句 (3月3日 (桃の節句)、5月5日 (端午の節句)、9月9日 (重陽)) や金額の算定 (御祝儀、香典) における奇数の優先はこうした習慣に基づく。和食器が5組で1セットとされる事情もこの点に求められる¹⁰³⁾。欧米の社交では、夫婦が単位となるため、

ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、(4)トランペット3、トロンボーン3などがある。

95) <https://www.johnnys-net.jp/page?id=profile&artist=9> (2021年1月30日確認)。

96) 坂本昌行・長野博・井ノ原快彦で構成される20th Centuryと、森田剛・三宅健・岡田准一で構成されるComing Centuryとに区分される (<https://www.johnnys-net.jp/page?id=profile&artist=9>) (2021年1月30日確認)。

97) <https://www.big6.gr.jp/index.php> (2021年1月30日確認)。

98) <http://www.kan6bb.jp/> (2021年1月30日確認)。

99) <http://96bbl.com/> (2021年1月30日確認)。

100) 在原業平、僧正遍昭、喜撰法師、大友黒主、文屋康秀、小野小町。

101) 土屋右衛門尉、三枝勘解由、曾根内匠、武藤喜兵衛、甘利左衛門尉、長坂源五郎。

102) 三雲成持・蒲生賢秀・進藤貞治・平井定武・後藤秀勝・目賀田綱清。

103) <https://kurashi7.net/18749.html> (2021年1月30日確認)。

食器にも偶数が用いられる。また、12進法が採用されてきたため、1ダース12が最少の単位となる。社交の簡素化とも相俟って、6組で1セット（半ダース）が基本の単位とされるようになった¹⁰⁴⁾。

(4) まとめ

9 以上を纏めよう。わが国における6の使用には、いくつかの社会行動文法を見出すことができる。それとして考えられるのは、類型(1)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「他国の例に倣う（既存のルールを模倣する）」(効果) 旨の形成基準が想定される場合、類型(2)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「数量計算の結果を採用する」(効果) 旨の形成基準が想定される場合、類型(3)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「固有の政策的配慮を行う」(効果) 旨の形成基準が想定される場合などである。類型(1)の例としては、参議院議員の任期のほか、六国史、六十六か国、兼六園、六義園、六波羅蜜、六地藏、六神丸など、中国における聖数6への依拠が挙げられよう。類型(2)の例としては、硬貨の種類、六本木、六文銭、六重奏などが考えられる。類型(3)の例としては、小学校6年制、薬学部の部分的6年制、大相撲6場所制などが該当する。これらの形成基準（類型(1)ないし(3)）は法文化の例として留保される余地がある。

2 中国

(1) はじめに

1 わが国における6の使用例と異なり、中国では、6に特別の意味が与えられているようにみえる。近年の例としては、2020年6月30日に公表された中華人民共和国香港特别行政区国家安全維持法（6章、66か条）¹⁰⁵⁾が

104) <https://www.lettuceclub.net/news/article/184258/>（2021年1月30日確認）。

挙げられよう。中国文化に通じた梶田幸雄教授によれば、最高人民法院発布の「新型コロナウイルスの民事案件の若干の問題を法により適切に審理することに関する指導意見(二)」¹⁰⁶⁾において、「党中央の新型コロナウイルスの予防および経済社会発展業務部門の準備をさらに貫徹し、着実にするため、「六穩」業務……「六保」業務をしっかりと行い、各級人民法院が新型コロナウイルスに関する契約、金融、破産などの民事事件を法により適切に審理するように指導する」ことが各級人民法院に求められていた¹⁰⁷⁾。

それでは、中国において、「六」はどのように理解されているのだろうか。日本の漢文学者・東洋学者、白川静は、漢字「六」の成立ちを次のように説明していた。

“**仮借** 小さな幕舎の形。その原義において用いられることがなく、その音を仮借して数の六にのみ用いる。……陵の字形にも六を含む、

105) 中华人民共和国香港特别行政区维护国家安全法<http://www.npc.gov.cn/npc/c30834/202007/3ae94fae8aec4468868b32f8cf8e02ad.shtml>(2021年1月30日確認)。

106) 关于依法妥善审理涉新冠肺炎疫情民事案件若干问题的指导意见(二)》的通知(法发[2020]17号, 2020年5月15日)<http://www.court.gov.cn/zixun-xiangqing-230181.html>(2021年2月5日確認)。

107) 2021年2月5日付け筆者宛私信メールによる。梶田教授によれば、「六穩」(6つの安定)は、就業、金融、対外貿易、外資(外資誘致)、投資、計画目標(GDPの最低成長率の達成)を示し、「六保」(6つの確保)は、就業、基礎民生、市场主体(個人事業主や中小零細企業などの支援)、食糧エネルギーの安全、産業チェーン、基幹運送を意味する。「六穩」政策の実施は2019年9月4日開催の国务院常务会议で強調され(http://www.gov.cn/premier/2019-09/05/content_5427630.htm; (2021年2月5日確認); https://www.ide.go.jp/Japanese/Researchers/tanaka_osamu/China_report/2019/20190910.html(2021年2月5日確認)), 「六保」は2020年4月17日の中共中央政治局会議で言及されている(http://paper.people.com.cn/rmrb/html/2020-04/18/nw.D110000renmrb_20200418_3-01.htm(2021年2月5日確認))。

陵と陸とは関係のある字で……陸と六は同声で、その声をとって数の六に用いた……”¹⁰⁸⁾

このような説明を聴くと、「六」には語源学 (etymologia, etymology) からの接近の道が閉ざされていることが分かる。

2 それでも、漢字の「六」がこの国で高く評価されていることは、次の説明からも十分に読み取ることができる。

“漢字の「六」は民俗文化ではめでたい数字になっているが、それは「六」と「禄」の発音から来る連想とかなり関係がある。

「六」を福祿喜慶の象徴として、古代には「六月六回娘家」〔六月六日の里帰り〕の風習があった。……毎年六月六日に、どの家もすでに他家に嫁いでいる娘を呼び寄せ、ひとしきり歓待したのち嫁ぎ先に送り返す……。なぜこの日を選んだのであろうか。……春秋戦国時代にこの風習の起源があった。当時、晋の宰相の狐偃は功が高いことを自負して、いつも六月六日の誕生日に豪華な宴会を催し、金を浪費し、人びとの怒りを買っていたが、あえて口にする者はいなかった。狐偃の娘婿の父親である趙衰が親身になって忠告したが、狐偃は強情で自分の意見を押し通し……。忠告に耳を傾けなかったばかりか、逆に趙衰を辱めたので、趙衰は恥じて死んでしまった。狐偃の娘婿は、六月六日の狐偃の誕生日に狐偃を殺して父の仇を討とうとした。妻はそのことを知ると、実家に戻って父親に教えたので、狐偃は死の恐怖に直面してやっと目が醒め、心を入れ換え……。以後、毎年六月六日に娘と娘婿を招いて団欒を楽しんだ。そのことが庶民に伝わり、庶民がまねるようになり、長い年月がたつうちに風習になった。……”¹⁰⁹⁾

108) 白川静『新訂 字統』(平凡社, 2004年) 955頁。

109) 葉舒憲・田大憲(鈴木博訳)『中国神秘数字』(青土社, 1999年) 180-181頁。

「六」に対する尊崇の念を紹介するものとしては、以下の解説がある。

“漢族の崇「六」心理に似ているものに、雲南省大理市のペー族の「六」と不可分の贈りものの風習がある。……婚約の結納金は百六、二百六、六十、六十六で、結納の塩、砂糖、茶、酒などはみな「六」にちなんでおり、茶は一斤六両か二斤六両、砂糖は六斤か六箱、塩は六斤か十六斤、酒は六斤か六本である。長寿の祝いや新築の祝いの贈りものも「六」と不可分である。百六十元贈れば贈られた人は非常に喜ぶが、五百元贈れば贈られた人は逆に不吉として受け取ることを拒否する。これこそ、「六を認めて五を認めない」特殊な民俗心理の反応にはかならない。……この種の風習の由来について、ある説では、漢字の「有福有禄」〔幸福と秩禄がある〕の意味を取り、「禄」と「六」は同音であるので、古くから漢字を使っているペー族は「六」を有福有禄、吉祥如意〔すべて順調で意のままである〕の兆候とみなしているという。また、別の説では、漢語の方言の「六」はペー族の「充分」という言葉と発音が似ているので、贈られたものの多少にかかわらず、「六」があれば充分なのだという。

「禄」はきわめて古くから理想追求の主要目標であった。西周代の銅器の銘文では、「禄」と「福」や「寿」との並列がもっとも多い……”¹¹⁰⁾

再び、中国文化に詳しい梶田幸雄教授の示唆¹¹¹⁾によれば、「六は、中国人がとても好きな数で……多くの伝統的な文化概念のなかで使用され……吉祥、円満、安寧、安定などの意味」を持つとされ、中国人がしばしば言及する「六六大順 (liù liù dà shùn)」¹¹²⁾という俗語は、「すべて順調に事が

110) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）183頁。

111) 2021年1月25日付け筆者宛私信メールによる。

運ぶ」ことを意味する。「六六大順」については、以下の説明も参考になろう。

“(1)春秋左氏伝によれば、人びとの社会関係や家庭関係を円滑にし、幸せな生活を送れるように導く6つの言葉がある。「君義、臣行、父慈、子孝、兄愛、弟敬」、これら……を六順という。

(2)周易の六爻周易——易経に記された、爻辞、卦辞、卦画に基づいた占術——では、「爻」を重ねたかたちで「易卦」の記号を表す。「爻」には陽と陰があり、「-」を陽爻、「--」を陰爻という。周易の六爻は、「爻」を6つ重ねた……「六十四卦」の組合せで吉凶を表す。六爻がすべて吉である状態を「六六大順」と言う。

(3)「六」と「溜」の発音が同じであり、よく飲む（順溜）に通じることから、酒を注文するとき、「六六大順」と言う。”¹¹³⁾

中国人の生活では、幸運……成功（順調）を象徴する……「六」……がしばしば使用されている。男女が婚姻するとき、納采、問名、納吉、納徴、請期、親迎の6儀式（周の六礼）が行われる¹¹⁴⁾。(1)まず媒酌人をもって婚姻の意志を通じさせた後に、礼物を送って采扱の礼を行う（「納采」、采は採扱の意味）。(2)次に主人が書をそなえた使者を使わし、その娘の生母の姓氏を問う（「問名」）。(3)問名の後、占いを行って吉兆を得れば、相手の女性の家に告げて初めて婚姻のことを決める（「納吉」）。(4)その後、男の家から女の家へ贈り物をして婚約成立の証しとする（「納徴」）。(5)これに続けて、男子の家から女子の家へ行き、結婚の期日を選ぶ（「請期」）。(6)最後に、自

112) <http://nakamura-hiroshi.com/blog2/2009/09/liu-liu-d-shun.php> (2021年1月30日確認)。

113) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）183頁。

114) <http://www.ogasawara-ryu.gr.jp/lessons/reihou/LifeEvent/wedding/rokurei.html> (2021年1月30日確認)。

ら嫁の家に行って嫁を迎える儀式を行う（「親迎」）。

「農村部の暦」という意味の農曆（旧暦）¹¹⁵⁾における「六月六日，走罷麦」は，農曆の6月6日頃に小麦の収穫を終え，余暇を楽しむことを表す。6月6日は，本などを天日に晒して虫干しをするという意味で，「晒経日」とも言われる¹¹⁶⁾。

（2）神秘数字と宇宙観

1 中国で漢数字「六」に対する尊崇の念が生まれた事情については，この国の人びとの宇宙観との関係が指摘されてきた。次の説明はその好例である。

“……太陽や帝王をめぐって文学的な想像のなかに現れる「六龍」，「六蛟」……などは，特殊な表現モデルを形成している。なぜ「五龍」や「七龍」を使わずに「六龍」しか使わないのかと問う人がいれば，それは神秘数字の「六」の由来に関わり，古人の「六合」宇宙観のなかに解答を求めなければならない。”¹¹⁷⁾

上の引用文に現れた「古人の『六合』宇宙観」については次の解説が参考になろう。

“「六」は……原初の宇宙観のはたらきによって，「五」と同じように人の注目を浴びる聖数になっている。帝王の制度から祭祀儀礼にいたるまで，役所の設置から統治秩序にいたるまで，定められた「六」の組織を代々踏襲し，奇特な象徴的な意味を構成してきた。

115) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1031526025（2021年1月30日確認）。

116) 前注115)。

117) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）156頁。

この種の代々尊奉されてきた定則は、少なくとも古史、伝説中の堯舜の時代までさかのぼることができる。

……「六宗に禋りくそうす」とは六神を祭ること……「六宗」とはなになのか。種々の見解や推測がなされている。四時，寒暑，日，月，星，水旱……，水，火，雷，風，山，沢……，星，辰，司中，司命，風師，雨師……，天宗，地宗，四方……，天皇，五帝……，天，地，春，夏，秋，冬……。しかし，各種の説のあいだには名称の争いがあるだけで，「六」制に対する合理的な解釈や歴史的根源をさかのぼる証明はなされていない。¹¹⁸⁾

上記の引用では，何が「六宗」の内容として考えられてきたかには触れられているものの，なぜ「六」が注目を浴びるようになったかという点は明らかにされていない。この点については，次の解説も参照されなければならない。

“伝奇故事から，聖数「六」の宇宙論の由来を多かれ少なかれうかがうことができる。……古代の天子はなぜ「六」が大好きだったのであろうか。……「天子」という名称は天子が天神，太陽神の直系の後裔であり，凡人とは遺伝的に差異があることを暗示している。天子の馬車が出駕するときにならず「六馬」制を採用しなければならなかったのは，古くから伝えられてきた礼の規則であり，漢代になるとはや人びとはなんの疑問も抱かなくなった。¹¹⁹⁾

この解説では，「聖数『六』の宇宙論の由来を……うかがうことができる」と述べられているが，なぜ「六馬」制が採用され，「五馬」制や「七馬」制ではなかったのかという点は解明されていない。ここに「馬」が登場す

118) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）151頁。

119) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）153頁。

るのはなぜかという点については、以下の補充説明が参考になろう。

“……「天子」が六馬に乗る制度が、「六龍」神話と関係があることは確実である。というのは、上古の太陽神自身は歩くのを怠け、天上における毎日の行程には龍車に乗っていた。……

……

……帝王たちが六馬を六龍と称するのは、太陽神が六龍を御して天空に遊ぶ神話にならうためであり、文人墨客が帰隠昇仙の志を詠嘆するのも白日夢のように「六龍を駕す」ことで心理的な代償である快感を得る……”¹²⁰⁾

こうした説明を聞くと、「上古の太陽神」が「六龍を御して天空に遊ぶ」のに対し、「太陽神の直系の後裔」である「天子」が「六馬」、すなわち、六頭立ての馬車に乗って移動していたことが分かる。けれども、なぜ「六龍」なのかという疑問を解くヒントはここにもない。

2 この空白を埋めるための手掛かりは、『『天子』という名称は天子が天神、太陽神の直系の後裔で……あることを暗示している』と述べた文章にある。「天子」という語に含まれた「天」と関連するのが方位に関する次の説明である。

“人類の六方位観念の形成は、はてしなく長い過程を経ている。最初の空間意識は……四つの方位しかなく、のちに上と下を代表する天と地という二つの方位が加わって、六方の立体観念が生まれた。こうして、「六」も、「四」、「五」の後を継いで神秘的な宇宙の数字になった。”¹²¹⁾

120) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）154頁。

121) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）156頁。

この六つの方位という空間的理解が時間に転用される点については、以下のような説明が見出される。

“六方の空間観念は、神話的思考では時間と空間の相互混同を呈して、空間方位のある点で時間の循環変化の周期を示すことが少なくない。こうして、星を座標とし、日出と日没の方位の変化と特定の季節を一体とみなし、六合空間における東、西、南、北の四つの方位は……春、夏、秋、冬の四季に対応する。古人は時間上の四季の変化を太陽の運行規則にもとづいて六つの方位に投射したので、「六」も間接的に「五」の後の循環変易を象徴する数字になった。

……わが国のイ族の古代の哲学古典『宇宙人文論』は、「五行」思想の大きな影響を受けているが、依然として六合秩序にもとづいて万物の発生発展の六段階の法則を総括している。すなわち、天地の四時はすべて首、萌、長、遍、退、蔵の六段階の運動にもとづくと述べている。十一月から陽気が生じ始めるので十一、十二両月を「首」、正、二両月は陽気が盛んになるので「萌」、三、四両月は、万物が生ずるので「長」、五、六両月は陽気があまねくゆきわたるので「遍」、七、八両月は陽気が徐々に衰え、陰気が徐々に増え始めるので「退」、九、十両月は陽気が消失するので「蔵」という。六段階を合わせると、陰陽二気の消長、変化の過程を示している。……この種の古朴な六段階の宇宙運動理論は、抽象化の度合いが五行の相生相克学派ほど高くはないが、一年十二か月を「六季」に分ける理性的な傾向をほのかに表しており、古代インドの「六季」の暦制を連想させる……。

発生の原因についていえば、「六合」空間は太陽神崇拜と不可分に結び付いている。太陽神は四方をあまねく照らすばかりか、その巨大な貫通力で上は天にも通じ、下は地にも達し、光が全世界をおおう。
……”¹²²⁾

この説明の最後に示された「太陽神」という言葉は先の引用部における「天子が……太陽神の直系の後裔」という説明に対応する。「古人の『六合』宇宙観」とは、あらゆるものの中心に位置する「太陽神」を起点として眺めたときの四方（東西南北）および上下を表す「六合」が中国人の宇宙空間観念をいうものと考えることができよう。

（3）国制

1 それでは、このような「古人の『六合』宇宙観」はどのように具体化されているか。まず取り上げられるのが、この国の国制に関する以下のような説明である。

“天子の補佐に「六相」〔六人の大臣〕がいる。……天子の徳に「六守」がある。……

一に仁，二に義，三に忠，四に信，五に勇，六に謀といい，これを六守という。

……天子の宮殿に「六門」がある。”¹²³⁾

統治機構については、以下のように説明される。

“「六」の重要性は統治秩序を維持する面の表現が非常にきわだっていることにあり、「六」制を採用しさえすれば、制度が完全で、構成がきわめて完全な組み合わせを保証することができる。統治権を掌握するには六種の手段を使わなければならない、それを「六柄」という。すなわち、生，殺，貧，富，貴，賤である。官吏を評定するには「六計」を基準とするが、

122) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）157頁。

123) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）152頁。

一に曰わく廉善，二に曰わく廉能，三に曰わく廉敬，四に曰わく廉正，五に曰わく廉法，六に曰わく廉弁。……

である。「六計」が主に官吏の個人的な品行に着目するとすれば、「六察」は官吏の政績をいっそう重んずる。「六察」とは、

其の一、官人の善悪を察す。其の二、戸口の流散、籍帳の隠没、賦役の不均を察す。其の三、農桑の不勤、倉庫の減耗を察す。其の四、妖滑盜賊、不事生業……を察す。其の五、徳行孝悌、茂才異等、藏器晦跡、応時用者を察す。其の六、……廉並縦暴、貧弱冤苦不能自申者を察す。……

である。唐代の監察御史は「六察官」ともいった。

上古代には、国家の中央行政機構でもっとも重要な官職は「六卿」であった。『周礼』では、六卿は天官冢宰、地官司徒、春官宗伯、夏官司馬、秋官司寇、冬官司空である。それぞれその職をつかさどり、「各（おのおの）其の属を率い」、国家の政治生活のなかで重要な役割を果たしていた。……

……

……「六卿」の設置は天地四方（四時）にかたどり、天、地、春、夏、秋、冬の六つを「六官」に配し、一再ならず六制を以て基本的な統治規範を表しており、原初の宇宙観における六方空間に対する自然崇拜を典型的に伝えている。

天官の冢宰の重要な部下は大宰で、その職責は、

邦の六典を建て、以て王を佐け邦国を治むることを掌る。……ことである。「六典」とは治典、教典、礼典、政典、刑典、事典のことである。

天官の冢宰の部下の小宰は、「六叙」、「六属」、「六職」、「六聯」を職分の範囲とする。これら「六」制は、「六叙」で群吏を正すことで、一に曰わく叙を以て其の位を正す。二に曰わく叙を以て其の治を進む。三に曰わく叙を以て其の事を作す。四に曰わく叙を以

て其の食を制す。五に曰わく叙を以て其の会を受く。六に曰わく叙を以て其の情を聴く。……

で、「六」を治世の秩序の規範にしている。

「六属」は邦治を挙げる。六属とは六官の部下のことで、官ごとに六十人が僚属する。この種の整然とした「六」制は、本質的に「六」の規範力を体現している。

「六職」は邦治を弁ずる……。六職とは、第一に治職、第二に教職、第三に礼職、第四に政職、第五に刑職、第六に事職である。

「六聯」は邦治を合わせる。……「聯」とは政務を協力して処理することである。「六聯」とは祭祀の聯事、賓客〔賓客の接待〕の聯事、喪荒〔王者の喪礼と飢餓救済〕の聯事、軍旅の聯事、田役〔使役免獵〕の聯事、斂弛〔穀類の収斂と放出〕の聯事である。

地官の司徒が邦教を掌る〔天下の教育を掌理する〕ことはいっそう「六」と不可分であり、「保息六」で万民を養い〔六項目の安んじ繁殖させる政策で万民を擁護し〕、「本俗六」で万民を安んじ〔六項目の伝統ある善良な風俗を推進して万民を安居させ〕、「六徳」〔六行〕、「六芸」で万民を教化する。

「保息六」とは、慈幼〔幼少の児童を愛護する〕、養老〔高齢の有徳者を尊敬し養う〕、振窮〔困窮者を救助する〕、恤貧〔貧困者を救済する〕、寛疾〔疾病者の卒役を減免する〕、安富〔富裕者を安定させる〕という人びとを休息させる六項の措置のことである。

「本俗六」とは、美宮室〔家を建造するにはかならず堅固、耐用にする〕、族墳墓〔同族の人が死んだときは、かならず輩行年齢の高下大小の順序に従って葬る〕、聯兄弟〔義兄弟のあいだで親睦をはかる〕、聯師儒〔郷閭の子弟たちをいっしょに先生に教育を受けさせる〕、聯朋友〔友人のあいだでたがいに信じ合う〕、同衣服〔人民にその貴賤にかかわらず同じ衣服を着させる〕を人びとを教化する六つの方面とすることである。

「六徳」は、知、仁、聖、義、忠、和という人の具えるべき六種の徳行である。

「六行」は、孝、友、睦、姻〔親戚が親愛、和睦すること〕、任〔友人がたがいに信じ合うこと〕、恤〔貧しい人を救済すること〕の六種の善行である。

「六芸」は、礼、楽、射、御、書、数である。

これこそ、いたるところに「六」が充満している人文教化の世界にほかならない。くりかえし重視される「六」数の構造を通じて、『周礼』は無意識のうちに立体空間の引き出す宇宙の象徴的な意味を強化している。

『周礼』では、「六」と「五」はともに統治規範の数として聖数崇拜を体現している。しかし、両者はそれぞれ陰数、陽数という二つの範疇に分属し、相異なる効能をも具えている。「六」は陰柔の数で、文治、教化、礼儀、祭祀を表すのに使い、「五」は陽剛の数で、殺戮、威厳、刑罰、教誨を表すのに使う。¹²⁴⁾

以上の説明をみると、この国の組織規範や行為規範の細部に亘って、「六合」宇宙観が幾重にも具体化されていたことが分かる。

2 上記引用の末尾では、儒教の代表的経典である『周礼』¹²⁵⁾中の「六合」宇宙観に関する記述内容に触れられていた。それゆえ、二次資料ではあるが、『周礼』の記述に触れた以下の説明をみておこう。

“……極度に「六」をきわだたせている『周礼』は……漢代にいたっ

124) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）164-166頁。

125) 周王朝の「礼」、すなわち文物・習俗・政治制度、特に官位制度について記されており、戦国時代以降の儒者にとって理想的な制度とみなされた。『礼記』および『儀礼』とともに「三礼」と呼ばれる。<https://kotobank.jp/word/%E5%91%A8%E7%A4%BC-77469>（2021年1月30日確認）。

てやっと完成したものであるにもかかわらず、「六」の制度は由来が古い。殷代にすでに「六」制の官制が施行されていたことを説明する確証はないけれども、周代にはすでに「六」が非常に流行していた。『詩経』「小雅」の「瞻彼洛矣」に「六師」という語があり、戦国時代の莊周〔前三六九？—前二八六？〕の『莊子』が「六経」の初見である……

時代が変遷し政権が交代したが、漢朝から清朝にいたるまで、歴代の王朝はずっと「六」によって中央の官署を組織する制度を踏襲してきた。

前漢代末年、王莽〔前四五—後二三〕が新朝〔八一—二三〕を建てて、司中、太御、太衛、奮武、軍正、大贅の六官を置いたが、その長官はみな上卿であり、「六監」と称した。

……

隋の文帝〔在位五八一—六〇四〕は即位すると、統一した政治体制を確立することに着手し、尚書省の下に吏部、礼部、兵部、都部、度支、工部を設け、「六曹」と称した。

唐代初期、高祖の武徳七年〔六二四年〕、中央政府に尚書、門下、中書、秘書、殿中、内侍の「六省」を置いた。……

……

明・清代の官制は六部の用法を踏襲し、「六科」と称した。

中央の官署が「六」制を採用したばかりか、地方政府も「六」制を踏襲して官を設け職を分けた。唐代の府省は功、倉、戸、兵、法、土を設けて「六曹」と称し、「六司」ともいった。宋代の府州は吏、戸、礼、兵、刑、工の六曹を設け、「六案」と称した。

官衙の「六」制は、踏襲しているうちに習慣になったが、これは奇妙な職官現象である。この種の現象の原因は、まず儒教の政治理念が中国の封建社会で長期にわたって支配的な地位にあったことにあり、「人道は六制を以てス」は早くから統治秩序の象徴になった。こうして、

この種の現象の究極の根源を探求するには、原初の民の天地四方に対する崇信と敬仰にまでさかのぼらなければならない。……”¹²⁶⁾

上記引用末尾の「人道は六制を以てス」については、次の説明も参考になる。

“中国古代には、「人道録制」は「天人合一」観念の産物として、政権機構、制度儀礼の定則になったばかりか、文化の領域にも浸透し、無形の規範力を具えていた。

初期の教育は貴族の子弟を主な対象にしており、「六芸」が主要な教育内容であった「六芸」については、『周礼』「地官」の「大司徒」に、

六芸。礼、楽、射、御、書、数なり。

とある。礼は儀礼、楽は主に祭礼に使われる音楽、射は射法、御は馭技、書は六書、数は算術である。”¹²⁷⁾

特に教育については、以下のように補足されている。

“六芸の内容からみると、宗教、祭礼、軍事、倫理、文化を包含しており、いずれも貴族の人材を養成する軍国の大事である。……

「六芸」のうち、「六書」ほど後世の学術思想に大きな影響を及ぼしたものはない。……『漢書』が……「六書」に詳細な説明を付すとともに、例字を列挙している。すなわち、その「叙」で、

一に曰わく指事。指事なる者は、視て識る可く、察して意を見る、上、下是れなり。

二に曰わく象形。象形なる者は、画きて其の物を成し、体に随

126) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）168-169頁。

127) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）171頁。

いて詰諷す。日月是れなり。

三に曰わく形声。形声なる者は、事を以て名を為し、譬えを取りて相成る。江、河是れなり。

四に曰わく会意。会意なる者は、類を比して誼を合わせ、以て指撝を見す。武、信是れなり。

五に曰わく転注。転注なる者は、類、一首を建て、同意相受く。考、老、是れなり。

六に曰わく仮借。仮借なる者は、本其の字無く、声に依りて事を託す。令、長是れなり。……

と述べている。六書のうち、象形、指事、会意、形声は漢字の四種の造字法であり、転注、仮借は二種の用字法にすぎない。『説文解字』以後、「六書」理論は中国文字学の唯一無二の方法になり、後世の人びとが修正を試みたにもかかわらず、「六」の魔力には終始一貫して変化がない。¹²⁸⁾

3 「古人の『六合』宇宙観」に関する記述は、このほか、『易経』にも見出される。

“バビロニア人は六十とその倍数を寵愛していた。……ペルシアのタセルクセス大王……がギリシアを侵略しようとして、ダーダネルズ海峡……に橋を架設して大軍を通過させようとした。意外にも、橋の竣工が間近に迫るや、暴風と怒涛で倒壊した。大王は激怒し、海を三百回鞭打つよう命じ、……また、ダリウス一世……は自分の神馬がチントス河……で溺死したので、排水路を三百六十本掘削するよう命じた。

これらの倍数現象から、逆に、なぜ三十六、四十九のたぐいの数字

128) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）172-173頁。

が中国でも神秘的な符号になり、相応する多数の数字現象を派生したのかを理解することができる。われわれには、これらの現象を神秘数字の本質的な特徴生成性に帰結する理由がある。関係のある類似の情況に出会うごとに、生成性の角度から問題をみれば、複雑なものを簡単にし、源を調べて流れを知るような効果を取められることが少なくない。

『易経』では、この種の六方空間の観念から得られた「六」が、いっそう抽象的な意義を具えている。卦を構成する二つの符号を「爻」といい、「-」は陽爻、「--」は陰爻といい、卦を六本重ねたものを六爻という。先人は六爻を一卦とし、「六」で占筮における万象を網羅する廣大無辺の象徴、無窮変易の巫術的な力の象徴にした。……

……

六爻は龍の象徴である。……

……

……六龍が深淵に潜入し、田野に姿を現し、飛龍は天にあり、天上水下、六合の内内で活動し、神秘的で壮大な形象を現す。ゆえに、『易経』の「六」はまた宇宙の六つの方位が構成する三維空間をも象徴する。

『易経』の記事では、一卦六爻を初爻、二爻、三爻、四爻、五爻、上爻としている。初、三、五の爻を陽位、二、四、六の爻を陰位とする。占筮の過程で、陽爻が陽位に、陰爻が陰位にあれば、「正を得る」、「位を得る」といい、筮がこの爻に出会えば、占筮の結果は吉であることが多く、逆に、陽爻が陰位にあったり、陰爻が陽位にあったりすれば、「位を失い」、占筮の結果は凶であることが多い。

総体的にみれば、八卦にはそれぞれ爻が三つずつあり、六十四卦はみな二つの卦が重なっているため、爻が六つずつある。これが卦画の基本構成単位になっている。六つの爻のうち、上方の二つの爻は天道の陰陽、下方の二つの爻は地道の柔剛、中間の二つの爻は人道の仁義を象徴し、六つの爻の変動は天道、地道、人道の相互作用と変易を象

徴する。”¹²⁹⁾

みられたように、ここにも「六方空間の観念から得られた『六』」の基準性が現れている。上記の説明の随所に、「……とき」（要件）→「6を採用する」（効果）という判断基準がみられるが、その前提には、「……とき」（要件）→「他国の例に倣う（既存のルールを模倣する）」（効果）旨の形成基準（類型(1)）があるようにみえる。

（4）宗教

1 「古人の『六合』宇宙観」に関する記述は、宗教の分野にも見とることができる。仏教における「六」の意味や使い方については、以下のように説明されている。

“ 仏教文献では、「六」は一切を涵養する神秘的な魔法の機能を具えている。たとえば、

「大智度論」にいう「六蔽」、つまり慳貧、破戒、瞋恚、懈怠、散乱、愚痴、

「俱舍論」にいう「六因」、つまり能作因、俱有因、相応因、同類因、遍行因、異熟因、

「成唯識論」にいう「六無為」、つまり虚空無為、択減無為、非択減無為、不動無為、想受滅無為、真如無為、

「涅槃経」にいう「六難」、つまり遇仏世難、聞正法難、生善心難、生中国難、得人身難、具諸根難、

である。

そのほかにも、「六欲天」、「六行」、「六如」、「六念」、「六垢」、「六著心」、「六即」、「六度」、「六物」などがある。インドのパラモン教で

129) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）160-162頁。

は朝の水浴びのときに、東、南、西、北、上、下の六つの方向に敬礼して、長寿と大財を祈るが、それを「六方礼」という。仏教では、毎月八日、十四日、十五日、二十三日、二十九日、三十日を四天王が人の善悪を調査する日とし、「六斎日」という。もっと奇妙なのは、「六」をモデル数として後世の中国で仏教の宗師の系譜が多数作られたことであり、その数はちょうど「六」である。たとえば、仏教は弘法、傳教、慈覚、智証、慈慧、円先を六大師とする。中国で禅宗の衣鉢を伝えたのは六人の祖である。……

仏教が「六」を崇める原因を追究すれば、インド本土に別の文化的基因を探さなければならない。もともとインドは亜熱帯に位置しており、一年を六つの季節に分けている。……インドの一年六季は、

正月一六日から三月一五日までが漸熱、
 三月一六日から五月一五日までが酷暑、
 五月一六日から七月一五日までが雨時、
 七月一六日から九月一五日までが草木繁茂時、
 九月一六日から十一月一五日までが漸寒、
 十一月一六日から正月一五日までが嚴寒、

である。……インド人はさらに六か月を一つの単位として「一行」といい、冬から夏にかけては太陽の運行が内にあるとして「北行」といい、夏から冬にかけては太陽の運行が外にあるとして「南行」といい、両者を合わせて一年とする。さらに、白日を三時に分かち、夜間を三時に分かち、六時を合わせて一昼夜とする。これら暦法の尺度に由来する多数の「六」によって、インド社会で「六」制の文化現象が中国よりもはるかに多く派生している……。仏教の漢訳經典が、インドの「六」制を中国に輸入する主要な窓口になった。

人生の小宇宙から広大な大宇宙まで推し及ぼし、仏教の「六」は無限に豊富な神秘的構造を構成している。密教は地、水、火、風、空、識を「六大」とし、それを世界を構成する基本的な元素とみなしてい

る。「六大」にはまた「六性」,「六用」,「六形」,「六色」があり,
「六性」は堅, 湿, 暖, 動, 無碍, 了別の六種の性質,
「六用」は不壊, 攝持, 離散, 長養, 自在, 識別の六種の業用,
「六形」は方, 円, 三角, 半月, 宝形, 雑形の六種の形色,
「六色」は黄, 白, 赤, 黒, 青, 雑の六種の色,
である。密教からみると, 一切の現象はこの六大をはじめ, 六性, 六用, 六形, 六色からはみ出すものはない。「六大」があまねく全宇宙にゆきわたっているのである。

……釈迦牟尼〔前四六三?—前三八三?〕は出家後, 深山幽谷に入って人生の苦痛から解脱する方法を探し求め, 鹿皮や樹皮を身に着け, 鹿や牛の糞の上で眠り, ひもじさに耐えながら, 菩提樹の下で沈思黙考し, 胡坐をかいて静坐した。六年間にわたる苦行のすえ, ついに「正覚」(大智慧)を得て「仏陀」(大徹大悟の覚者)になった。

釈迦が苦行をしていた「六年」にはなんら特異さはないかもしれないが, 「六」が仏教哲学においてたしかに重要な地位を占めていることは肯定することができる。

「六道輪廻」は仏教の学説の重要な内容であり, 善悪因果の関係にもとづいて, 六種の輪廻転生の道を喧伝する。「道」は道路という意味であり, 衆生が輪廻往来する道のことである。「六道」は「六趣」ともいい, 衆生の帰趨するところである。「六道輪廻」は, 地獄道, 餓鬼道, 畜生道, 修羅道, 人道, 天道のことである。

……

「六道」は仏教の衆生に対する分類で, そのうち, 前三道は三悪道, 後三道は三善道である。最低でもっとも苦痛なのは地獄で, 最高でもっとも清浄なのは天である。あらゆる衆生は六道という鳥籠のなかで, 善を修めた者は福業に従って上昇し, 悪をなした者は罪業に従って落下し, 苦海のなかで浮沈を繰り返し, 輪廻のなかで流転し, 永遠にやむことがない。仏教に帰依し, 悪を捨てて善に従わなければ, そのな

かから解脱することができない。ここでは、「六道」の「六」は循環の基数を象徴しており、それに対応するものに「六界」と「六凡」があるが、この両者は時間の循環上の「六」を空間レベルの区分に投射した産物のようである。

「六波羅蜜」はサンスクリット語の Satparamita の音意兼訳で、「六波羅蜜多」とも訳し、「六度」, 「六度無極」, 「六到彼岸」と意識する。先死の此岸から涅槃の彼岸に到達する六種の方法や方途のことである。六種の方途とは、布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧である。

「六根」はサンスクリット語の Sadindriya の意識で、「心の依拠するもの」とみなされ、「有情本」といい、「六情」ともいう。「六根」とは目、耳、鼻、舌、身、意の六種の感覚器官の作用である。「六根」が認識する対象は色境、声境、香境、味境、触境、法境の「六境」である。「六根」の認識機能は見、聞、嗅、味、触、知の「六識」である。「六境」は塵埃と同じように人の情識〔凡夫の心の迷いの見解〕を汚すことができるので「六塵」ともいい、人の迷妄を引き起こすことができるので「六妄」ともいい、「善を衰減させる」ので「六衰」ともいい、「一切の善法を強奪することができる」ので「六賊」ともいう。

「六根」と「六境」は順々に一つひとつ対応し、内外両面を合わせて十二入である。「入」はなかにはいりこむという意味で、六根と六境が相渉っている。六根は内六入、六境は外六入であり、六根は感覚、思考の器官であるのに、六境は認識の対象である。六根六境は人の肉体と精神の構成に対する分類であり、統一された人生現象を分立した要素に分け、さらに人生現象を宇宙現象にまで拡大し、人という小宇宙によって大宇宙を分析する。仏教哲学の構成するこの小宇宙で、人の「六根」はまさに大宇宙の六つの次元の人格化の縮図ではなかるうか。¹³⁰⁾

130) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）174頁-177頁。

このようにみると、極めて広い範囲に亘って「六」が浸透していることが分かる。

2 「古人の『六合』宇宙観」は、仏教のほか、道教にも見出される。この点については、次のように説明されている。

“道教では、「六」の神聖な性質は六丁と六甲の諸神のなかに十分に反映されている。六丁と六甲の命名は干支に由来する。六丁は陰神、六甲は陽神である。六丁神は丁卯神、丁丑神、丁亥神、丁酉神、丁未神、丁巳神、六甲神は甲子神、甲戌神、甲申神、甲午神、甲辰神、甲寅神である。

六丁と六甲は風雷を起こし、鬼神を制することができるので、道士は鬼を駆逐するときいつも符籙で召請する。

……

……六丁神を使役するには、まず斎戒しなければならず、さもなければ六丁神はやって来て神力を発揮することができない。……

……

庶民の間で広く語り継がれているのは、五丁力士の神話故事である。南北朝時代の……『華陽国志』『蜀志』につぎのような話がある。

秦の恵王は……五人の美女を嫁がせることを承諾した……蜀の王は五丁力士を迎えに遣わした。その帰途……大蛇が山洞に入っていくのを目にして、力士の一人が尾をつかんで引き出そうとしたが、どうしても引き出すことができず、五丁力士が一斉に力を入れ、大声を發して尾を引っ張ると、山が崩れ地が裂け、五丁力士と五人の美女はみな押しつぶされて死に、山は五つの嶺に分かれた。

五丁神話の伝播に伴い、「六丁」と「五丁」は合流するようになった。明代の『三教源流搜神大全』〔元代の『操神広記』〕巻四につぎのような話がある。

むかし、隋の文帝の開皇十一年〔五九一年〕六月、六力士が空中三、五丈のところに現れたが、五色の袍を身に着けていた。文帝が太史の居仁に、
「これは、なんという神か。いかなる禍福をつかさどるのか」ときくと、
「五方力士で、天上では五鬼、地上では五瘟でございます」と答えた。

六丁力士がなぜ五色の袍を身に着けているのか、また、どうして一変して五方力士とよばれるのか。もともと陰陽五行の觀念の流行によって、五色、五方など、「五」制と関係のあるものはみな神聖な象徴的意味を付与され、五方力士、五丁神は正統の地位を手に入れ、こうして道教の六丁神の地位はますます悪化していき、ひいては独立の身分さえ失ってしまった……¹³¹⁾

上記の説明をみると、「六」への信仰が仏教に限定されていないことが分かる。

3 「古人の『六合』宇宙観」から派生した「六」に対する信仰は日常の儀礼の場面にも表れている。この点については以下の説明が参考になるう。

“……方明は意味上で神明と対応しているばかりか、形制上でも太陽神に対するモデル的な構造を表しており、『儀礼』『観礼』に、
方明は、木なり。方四尺にして、六色を設く。東方は青、南方は赤、西方は白、北方は黒、上は玄、下は黄なり。
とある。この六色に塗られている巨大な六面体は、祭壇の上に安置され、太陽神が天地四方をあまねく照らすことを象徴し、それと同時に

131) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）179-180頁。

「六合」に宇宙の神妙な巫術的な意味を付与する。

聖数「六」を象徴する、文雅な「方明」よりも古拙な表象は、「六頭」の獣である。……大寒を送る庶民の礼俗では、県城の外に土牛を六体立て……房内には六頭の獅子と玉童、玉女の侍衛がいる……。そのほかに、六面撃打で有名な「霊鼓」もある。……

霊鼓は六面なり。……

……これら「六」を体現する儀礼の道具は、みな「六合」の本来の意味にならっていると見える。太陽神崇拝と関係があり、……太陽神の活動する立体空間の範囲を示している……。¹³²⁾

上記の、儀礼における「六」の使用例をみると、前述の「太陽神崇拝」との直接的な関連性が改めて理解されよう。

4 最後に、中国の古代神話に登場する神、聖王、伏羲 (Fu His, Fu Xi) が大成した易における六義¹³³⁾にも触れておこう。「易は六義にて成る」というときの六義とは、変、不変、簡、象、数、理の六つを指す。最初の3つ (これらは、易の三義とも呼ばれる。¹³⁴⁾) は「規則」で、後の3つは宇宙原理を認識するための「方法」と解されている。春夏秋冬の四季の訪れは毎年変わらない原則 (不変) であるが、春といっても、毎年同じ春ではない (変)。このように宇宙の原理は簡単なことわりに服する (簡)。森羅万象というように、宇宙の万事は自然現象 (象) である。この自然現象を数に置き換えて思考し (数)、置き換えられた数に着目して宇宙における統一的なことわりを求める (理)。ここでの6も陰陽道に由来する¹³⁵⁾。易経の9と6

132) 葉・田 (鈴木訳)・前掲書 (前注 109)) 159頁。

133) <https://ekikyo.net/contents/sakusya.html> (2021年1月30日確認)。

134) 易の根本理論である三義に加え「修正する」「延ばす」を加えて易の五義という場合がある。<http://keizanjuku.com/?p=962>

135) 吉野『陰陽五行と日本の民俗』(前注 21)) 56頁以下、同『十二支易五行と日本の民俗』(前注 21)) 275頁他。

はそれぞれ陽と陰を意味するとされている。

(5) 社会生活

1 「古人の『六合』宇宙観」は社会生活にも広く浸透している。ここでは、社会生活を送る際の指針でもある暦についての説明からみて行こう。

“陰陽六爻は「天人合一」の観念と本質的な関係がある。陽数が九、陰数が六を使い、天数が陽、人数が陰であり、陰と陽を組み合わせ、九と六を対にするのは、まさに天と人のあいだの相互交流、相携えて一になることを象徴している。『管子』『五行』に、

天道は九を以て制し、……人道は六を以て制す。……とあるのは、まさに「天人合一」観念の具体化である。……”¹³⁶⁾

ここには、前述の『周礼』に関する説明で触れられていた「人道は六制を以てス」という規範が繰り返されている。

2 中国でも、地名や寺院名に「六」が使われた例がある。広州市越秀区の仏教寺院、六榕寺¹³⁷⁾には、広州市内最古の建築物「六榕花塔」がある。中国南北朝時代（梁）の大同3年（537年）に建設され、宝莊巖寺と呼ばれていたこの寺が「六榕寺」と呼ばれるようになった由来については、北宋の政治家で詩人、書家としても知られる蘇軾が、政争の結果、広州（当時の名称は惠州）に左遷された際に訪れたこの寺で見た六本の榕樹（亜熱帯から熱帯地方にかけて分布するクワ科の常緑高木、ガジュマル）の美しさを賞賛し、「六榕」と書いたことに発すると説明されている。

136) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）163頁。

137) 広州四大名寺の一つ。1997年、広州市の十大観光名所に選定された。http://www.cnta-osaka.jp/spot/building/temple_of_the_six_banyan_trees（2021年1月30日確認）。; http://www.anas.co.jp/vivachina/guangzhou/view/view_d.html（2021年1月30日確認）。

「六」を用いた地名の代表例としては、中華人民共和国安徽省に位置する地級市六安 (ルーアン・Liuan)¹³⁸⁾が挙げられる(1978年9月23日法定)。地名の由来は、紀元前121年(元狩2年)、前漢により、膠東康王劉寄(景帝の子)の子である劉慶が六安王に封じられ、六安国¹³⁹⁾が設置されたことに始まる。「六安」の意味については、漢代の呉帝が、衡山、安城、安城の中の六つの郡の頭文字を取って、衡山の国を柳庵(六安)の国としたのが始まりで、「六つの地で平和を保ち、決して反乱を起こさない」という意味が込められているとされる¹⁴⁰⁾。

3 中国でも、6つで1組の使い方が見出される。戦国時代に、秦の東方に位置した齊、楚、燕、韓、魏、趙の六か国を指す「六国」¹⁴¹⁾、魏晋南北朝時代の、江南地方にあって建業/建康を都とした、漢民族の呉→晋→宋→齊→梁→陳の6王朝を意味する「六朝」¹⁴²⁾、父母、夫婦、子、兄弟姉

138) <https://www.weblio.jp/content/%E5%85%AD%E5%AE%89%E5%B8%82> (2021年1月30日確認)。

139) http://japanese.china.org.cn/culture/2007-01/25/content_7710814.htm (2021年1月30日確認)。

140) <https://baike.baidu.com/item/%E5%85%AD%E5%AE%89> (2021年1月30日確認)。

141) 秦が西周の故地に入って周の文化をある程度受け継いだのに対し、六国では独自の文化が発達した。文字も周秦の籀文と違い、各国で使われた独特の文字は、六国古文と呼ばれる。秦に併合された後、六国の故地は華山(陝西省華県)より東にあるため、山東と呼ばれた。このため、六国は山東六国とも言われる。後世には、六国が消滅した真の原因は、六国が互いに争ったことにあり、秦に滅ぼされたわけではないという意味の「六国を滅ぼす者は六国なり」という言葉が生まれた。<https://kotowaza.jitenon.jp/kotowaza/1620.php> (2021年1月30日確認)。

142) 五胡に占領された華北と異なり、江南では門閥貴族が皇帝の政治を支える貴族社会が引き続き維持されていたため、漢文化が継承された。この時期の文化を特に六朝文化という。この時期を代表する人物として、文学では、陶淵明(陶潜)、謝靈運、昭明太子らが、絵画では顧愷之らが、書道では、王羲之らが挙げられる。<https://www.y-history.net/appendix/wh0301-048.html>; (2021年1

が国に開設された中華人民共和国大使館の業務を補完する中華人民共和国総領事館は、札幌、新潟、名古屋、大阪、福岡、長崎の6か所に置かれている¹⁴⁸⁾。

(5) まとめ

以上を纏めよう。上記の断片的整理によっても、6に化体された社会行動文法が中国に見出されることが分かる。中国の場合も、類型(1)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「前例に倣う(既存のルールを模倣する)」(効果) 旨の形成基準が想定される場合、類型(2)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「数量計算の結果を採用する」(効果) 旨の形成基準が想定される場合、類型(3)「……とき」(要件) ➡ 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) ➡ 「固有の政策的配慮を行う」(効果) 旨の形成基準が想定される場合、これら3種の法文化が見出されよう。神秘数字の6を踏襲する類型(1)の例は、国制、統治機構、教育、宗教、日常の儀礼など広範囲に亘って見出され、現代の中国地理大区分類、外交基本方針などにも及んでいる。類型(2)の例としては、六榕寺、六安国、六国、六朝、六親、六脈などが挙げられる。類型(3)の例には、古人の「六合」宇宙観における「六方位」などが該当するようにみえる。

IV 事 項

以上は、6に化体された法文化が日本と中国でどのように表れているかという点についての検討であった。今度は、視点を変えて、中国における

147) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/data.html> (2021年1月30日確認)。

148) <https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/asia.html#08> (2021年1月30日確認)。

社会行動文法の基底を成す「古人の『六合』宇宙観」を反映していた仏教に着目し、若干の関連事項をみておこう。

1 宗教

(1) インド

仏教がインド北部釈迦族の王子（釈尊、仏陀、紀元前5世紀前後）によって説かれた教えであることを考慮すると、6 に化体された社会行動文法がもともとはインドで生まれたものであり、後に中国に伝わったと言えるか否かの確認が必要となろう。というのは、「仏教文献では、『六』は一切を涵養する神秘的な魔法の機能を具えている。」¹⁴⁹⁾とする指摘がみられるからである。こうした指摘が当てはまるとすれば、「古人の『六合』宇宙観」は中国固有のものとは言い得ない（この場合、中国の項で類型(3)の例とされた「古人の『六合』宇宙観」は類型(1)の例に転換される余地がある。）。この点については、以下の解説がある。

“古代インドも「六」を巫術の数とみなしていた。……「巫六」観念のインド仏教における現れは「六根清浄」、「六相円融」などであり、……この数は古代インド人にとっては並なみならぬものである。……インドの北西部では、八十四と三百六十が特殊な意味を有し、八十四は行政区の管轄する村数と規定され、三百六十とともに、天地創造神話、儀式、民間伝説の全域にはいつているのがみられる……。前三世紀ころのアショーカ王の時代、インドは仏教がきわめて盛んで、仏塔がきわめて多く、八万四千座に達していたといわれているが、これはけっして正確な数ではなく、この数は巫術的な意味を付与されており、仏塔の多さをいうのに使われているのである。これらの数はみな「六」の倍数である。……”¹⁵⁰⁾

149) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）174頁。

150) 葉・田（鈴木訳）・前掲書（前注109）160頁。

以上をみると、6それ自体だけでなく、6の倍数としての84、360、84,000もインドで重視されていることが分かる。巫術¹⁵¹⁾とは、シャーマン(巫師、祈祷師、巫女)が、精霊と交わる没我の境地にあって、悪霊・病魔の退散、吉凶の判断、予言などを行う特異な「能力」に基づいて成立する原始宗教・宗教現象(Shamanism)を言う。ただ、これら6の倍数に着目される場合でも、なぜ60、66、666などではなく、 $6 \times 14 = 84$ 、 $6 \times 6 \times 10 = 360$ 、 $6 \times 14 \times 10^3 = 84,000$ が優先されるのかは明らかではない。ここでは、 10 、 $2 \times 7 = 14$ 、6の二乗、10の三乗(1,000)の持つ意味が探求されなければならない。

(2) 聖書

1 聖書(キリスト教、ユダヤ教、そしてイスラム教を通じての教典(正典))にも、6という数が繰り返し現れる。旧約聖書を構成する全39章と新約聖書を構成する全27章、これらの数を足し合わせると $39+27=66$ となる¹⁵²⁾(66は、6の倍数ではなく、6の強調である。)

2 旧約聖書には、「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。……夕べがあり、朝があった。第六の日である。」¹⁵³⁾と記され、天地創造

151) <https://www.kanjipedia.jp/kotoba/0006027400> (2021年1月30日確認)。

152) 66の聖書正典：1創世記、2出エジプト記、3レビ記、4民数記、5申命記、6ヨシュア記、7士師記、8ルツ記、9サムエルI、10サムエルII、11列王記I、12列王記II、13歴代誌I、14歴代誌II、15エズラ記、16ネヘミヤ記、17エステル記、18ヨブ記、19詩篇、20箴言、21伝道者の書、22雅歌 預言書、23イザヤ、24エレミヤ、25哀歌、26エゼキエル、27ダニエル、28ホセア、29ヨエル、30アモス、31オバデヤ、32ヨナ、33ミカ、34ナホム、35ハバクク、36ゼパニヤ、37ハガイ、38ゼカリヤ、39マラキ、40マタイ、41マルコ、42ルカ、43ヨハネ、44使徒、45ローマ、46コリントI、47コリントII、48ガラテヤ、49エペソ、50ピリピ、51コロサイ、52テサロニケI、53テサロニケII、54テモテI、55テモテII、56テトス、57ピレモン、58ヘブル、59ヤコブ、60ペテロI、61ペテロII、62ヨハネI、63ヨハネII、64ヨハネIII、65ユダ、66黙示録。

153) 創世記1章31節。

が6日間かけて行われたことが示されている。神は6日目に「地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。……『我々にかたどり、我々に似せて、人を』……創造され……神をかたどって……男／女に創造された」。

ゴフェルの木で造られた「ノアの方舟（箱舟）」¹⁵⁴⁾は「長さを300アンマ（キュビト）、幅を50アンマ（キュビト）、高さを30アンマ（キュビト）」とするものであった¹⁵⁵⁾。舟の長さは、幅の6倍、高さの10倍に相当する¹⁵⁶⁾。1, 3と同様、6も10も三角数¹⁵⁷⁾である。また、「ソロモンの歳入は金666キカル（一年の間にソロモンのところに入ってきた金の目方は666タラントであった）」¹⁵⁸⁾とも書かれている。666キカルは、今日の計算法に換算すると、約22.644キログラムに相当する¹⁵⁹⁾。イスラエルの民の男子の数は「アドニカム一族666人」であった（エズラ記2章13節）。666という数は、数え切れない数と言う意味に解されている¹⁶⁰⁾。キリストのような奇跡を行う人間の偉業でさえも、神の前では有限であり、666という数は無限を意味するわけではない。こうした言い方は、数字も名前も付されていない神には無

154) <https://style.nikkei.com/article/DGXMZO26434530R00C18A2000000/>（2021年1月30日確認）。

155) 創世記6章15節。

156) 方舟の形状は人間の体形を模したもので、水平に寝た状態で腕を頭の先にまっすぐ伸ばしたとき、一直線になった手の先から足のつま先までの長さは、肩幅の約6倍、また高さの約10倍になる。

157) 正三角形を形作るために点を並べる際、必要とされる点の総数にあたる自然数。1=1, 3=1+2, 6=1+2+3 というように、1から順に足した数の合計、正三角形の形に点を並べたときにそこに並ぶ点の総数。

158) 列王記上10章14節および歴代誌下9章13節。

159) 共同訳聖書実行委員会（新共同訳『聖書 スタディ版 わかりやすい解説つき改訂版』（日本聖書協会、2014年）（旧）547頁）。

160) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1211468162?__ysp=5pen57SE6IGW5pu444Gu77yW44CB77yW77yW77yM77yW77yW77yW（2021年1月30日確認）。

限の力が備わっていることを暗示している。

3 新約聖書によれば、主の祈りは、最初の3つの祈り（「御名が崇められますように」、「御国が来ますように」、「御心が行われますように」）と最後の3つの祈り（「わたしたちに必要な糧を今日与えてください」、「わたしたちの負い目を赦してください」、「わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください」）、計6つの祈りから構成されている¹⁶¹⁾。「六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた」¹⁶²⁾。イエスが死と復活を予言してから「六日の後、イエスは、ただ、ペトロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた」¹⁶³⁾。カナの結婚式でイエスは、「ユダヤ人が清めに用いる石の水がめ……6つ」に「水をいっぱい入れなさい」と召使たちに命じた。召使たちが運んだ「縁まで水を満たしたかめ」の中身はブドウ酒に変わっていた¹⁶⁴⁾。「ヨハネの黙示録」では「ここに知恵が必要である。賢い人は、獣の数字にどのような意味があるかを考えるがよい。数字は人間を指している。そして、数字は666である。」¹⁶⁵⁾とされている¹⁶⁶⁾。

161) マタイによる福音書6章9-13節。

162) マタイによる福音書17章1節。

163) マルコによる福音書9章2節。

164) ヨハネによる福音書2章6節。

165) ヨハネの黙示録13章18節。

166) この666については、616という異説もみられる。「イエスの弟子、ヨハネによって記されたと言われる黙示録には666がアンチ・キリスト（反キリスト）の象徴として記され、また今日においてもキリスト教原理主義者の説教などでは、しばしばこの数字が効果的に用いられてきた。」「しかし今回、かつてエジプトはオクシリンクスの遺跡から発見された、ギリシャ語による最古の（三世紀頃）ヨハネの黙示録の紙片（写真上）を新たな写真技術で解析、研究した結果、実際には獣の数字は“616”と書かれていたことが明らかになったという。」「英バーミンガム大学の新約聖書研究家デヴィッド・パーカー教授はこれまでもこの獣の数字が666であるか、616であるかという議論はしばしば行われてきたものの、今回の研究によって616が正確な数字であることを確信したと話している。」

「666」の意味については、ギリシア語と同様、ヘブライ語でもアルファベットの文字が数字として用いられた点に着目して、キリストを否定する者を意味する（ヘブライ語で表記された名前を数字に置き換えると666になるローマ皇帝ネロを指す）という説¹⁶⁷⁾のほか、6は完全数の7から1を差し引いた数で、不完全なもの、つまり、獣を表すので、不完全な数6を3度繰り返した666は不完全さを強調しており、神になろうとしても、決して神にはなれない獣を指すとみる説もある¹⁶⁸⁾。こうした説明をみると、ここには、類型(3)「……とき」(要件) → 「6を採用する」(効果) という判断基準の前提に、「……とき」(要件) → 「固有の政策的配慮を行う」(効果) 旨の形成基準（法文化）があったようにもみえる。

(3) イスラム教

1 クルアーン（コーラン）は全114章（スーラ）から成る。114の各桁の数を足し合わせると、 $1+1+4=6$ となる。聖書の66とクルアーンの6を横に並べると666となる¹⁶⁹⁾。旧約聖書の章の数と新約聖書の章の数を足した

「これは典型的なゲマトリア（数字置き換えの暗号）の一種です。当時、キリスト教者たちは彼らを迫害していた人物の名を数字に置き換えて聖書の中に暗示していたわけです。例えばこの616はそのままローマ皇帝カリグラを示しています。」<http://x51.org/x/05/05/0327.php>（2021年1月30日確認）。

167) 「666」とはラテン語で「神の子の代理」を意味する“Vicarius Villi Dei”の、ローマ数字部分を足し合わせたものと一致する（V=5, C=100, I=1, L=50, D=500）。「皇帝ネロ（Nero Caesar）のギリシア語表記（Νέρων Καίσαρ, Nerōn Kaisar）をヘブライ文字に置き換え（נרנן קסר, Nrwn Ksr），これを数値化し（ゲマトリア），その和が「666」になるというもの。ヘブライ文字はギリシア文字のように、それぞれの文字が数値を持っており、これによって数記が可能である。この説は、直前の皇帝崇拜らしき記述とも、意味的に整合する。」<http://seishonyumon.com/movie/5539/>（2021年1月30日確認）。

168) 共同訳聖書実行委員会（新共同訳『聖書 スタディ版 わかりやすい解説つき改訂版』（日本聖書協会，2014年）（新）468頁）。

169) https://note.com/nemoto_shigeru/n/ndfda232a3bdc（2021年1月30日確認）。

ものに、クルアーンの章の数を加えると、 $39+27+114=180$ となり、この合計を示す数は、 $6\times 6\times 5=180$ と書き換えられる。 $180\div 27=6.6666666\dots$ は、循環節6の循環小数である¹⁷⁰⁾。3も6も66も666もすべて三角数である¹⁷¹⁾。クルアーンの第6章(「家畜章 (Al-An'am)」)は、旧約聖書創世記における天地創造の6日目に対応する¹⁷²⁾。

2 イスラム教の「六信五行」¹⁷³⁾に言う「六信」は、ムスリム(特にイスラーム教徒スンナ派)が信じなければならない6つの信仰箇条(アッラー、天使、啓示(コーラン)、預言者、来世、宿命)を意味する¹⁷⁴⁾。ここでも、中国の「六芸」や「六書」、キリスト教における6つの主の祈りなどと同様、人びとが遵守すべき行為規範の中に6がとり入れられていることが分かる。ここでも、類型(3)の形成基準(法文化)を見出すことができよう。

170) https://note.com/nemoto_shigeru/n/ndfda232a3bdc (2021年1月30日確認)。

171) <https://plaza.rakuten.co.jp/ayakawaso/diary/201806300000/> (2021年1月30日確認)。

172) <https://www.krn.org/ja/6.aspx> (2021年1月30日確認)。

173) <https://www.f-tsunemi.com/blog/realislam/1014/>; <https://mpja.jp/archives/1815> (2021年1月30日確認)。

174) <https://www.y-history.net/appendix/wh0501-021.html> (2021年1月30日確認)。六信:(1)アッラー(アッラーは唯一にして絶対の神という信仰)、(2)天使(不可視の存在で神の命令を忠実に実行するもの、大天使ガブリエル、大天使ミカエルなど)、(3)啓示(コーラン)(啓示とは神の言葉、具体的にはコーラン)、(4)預言者(神の言葉を預かっている者、最後の預言者ムハンマド)、(5)来世(現実の世界には終わりがあり、天変地異とともに終末が訪れ、来世が始まるという見方、そのとき人は墓から暴き出され、神の前で審判を受け、信仰の正しい者は天国に行き、不信仰の者は地獄に墮ちる。「最後の審判」、イランのゾロアスター教の影響)、(6)宿命(人間は被造物にすぎず、全能の神の意志によりあらかじめ定められているという考え)。ムスリムは六信と五行を信仰上義務付けられる。

2 神話

1 宗教の場合と同じように、神話にも6という数が使われている。

ギリシア神話の大地を象徴する女神ガイアとガイア自身が産み落とした天空の神ウラノスとの母子婚姻から、男女6柱ずつ、計12柱の神々が生まれた¹⁷⁵⁾。ガイアの息子クロノスとガイアの娘レアとの兄弟姉妹婚から、3柱の女神と2柱の男神に続いて、ギリシア神話の主神たる全知全能の存在・ゼウスが6番目に生まれた¹⁷⁶⁾。ゼウスと、叔母に当たる正義（掟）の女神テミスとの婚姻から、季節の女神ホーライら3柱の女神が、その後、運命の女神モイライら3柱、計6柱の神々が生まれた¹⁷⁷⁾

15世紀から19世紀に作成された著名な美術作品や装飾作品の収蔵で知られるウォーレス・コレクション¹⁷⁸⁾所蔵の、フランスの画家・フランソワ・ブーシェ (François Boucher) の作品「幼いディオニューソスを育てたニュシアデス」¹⁷⁹⁾にも6が含まれている。ニュシアデス (Νυσιαδες, Nysiades) は、幼いディオニューソスを育てたニューサ山の精霊・ニユンペー (ニンフ) を指す。ガイウス・ユリウス・ヒュギーヌスの『ギリシア神話集』では、6人のニユンペーの名前¹⁸⁰⁾が挙げられている。

175) <http://www.levy5net.com/space/home17.html> (2021年1月30日確認)。男の神は、オケアノス、コイオス、ヒュペリオン、ヤペトス、クレイオス、クロノス、女の神は、テテュス、フォイペ、ティア、レア、テミス、ムネモシユネと呼ばれた。山室静『ギリシャ神話』(社会思想社、1981年)13頁以下。

176) 『総解説 世界の神話伝説』(自由国民社、1992年)4頁以下。

177) 『総解説 世界の神話伝説』(前注176))7頁。

178) この美術館(The Wallace Collection)は連合王国ロンドンのマンチェスター・スクウェアにある。<https://www.wallacecollection.org/> (2021年1月30日確認)。

179) 別名、「ニンフたちに幼いデュオニソスを託すメルクリウス、ニンフたちに幼いパッコスを託すメルクリウス」(1740-42年頃または1734-36年) http://www.salvastyle.com/menu_rococo/boucher.html (2021年1月30日確認)。

180) キッセーイス (Cisseis)、ニューサ (Nysa)、エラトー (Erato)、エリフィアー (Eriphia)、プロミアー (Bromia)、ポリュヒュムノー (Polyhymno) (なお、5人説、7人説もある。)

“クロノスは両親であるガイアとウラノスから、「自分自身の子供によって支配者の地位を奪われる」という予言を受けていました。クロノスはこれを恐れ、妻である女神レアが子供を生むたびに、それを呑み込んでしまいました。

レアはこれを悲しみ、6番目の子供だけは助けたいと思いました。レアは、ガイアとウラノスに相談し、クレタ島のイデ山の洞窟に隠れて子供を生みます。生まれたばかりの子をガイアに預けると、赤んぼの代わりに大きな石を産着にくるんでクロノスのもとへ持ち帰りました。クロノスは疑いもせず、その大石をひとのみしてしまいました。

さて、この6番目の子供というのが、ギリシア神話の大神ゼウスです。ゼウスは、クレタ島の王の娘アドラスティアとイーデーに預けられ、クレタ島アイガイオン山の洞窟で、乳母代わりの雌山羊アマルティア（やぎ座）の乳を飲んで育ちました。ゼウスは立派な青年に成長すると、兄や姉たちを呑み込んだ父クロノスに復讐を果たします。ゼウスは、海の老神オケアノスの娘メティスに手伝ってもらい、クロノスに薬を飲ませ、ゼウスの身代わりとして呑み込まれた大石や兄弟たちを次々と吐き出させたのです。”¹⁸¹⁾

ゼウスの命を受けて、雷と火山の神、ヘーパイトス（オリンポス12柱のひとつ）が泥から造った人類最初の「女性」、パンドラー（パン（Παν）は「全てのもの」の意）に対して神々はさまざまな贈り物を与えた。天界の火を盗んで人間に与えたことでゼウスの怒りを招いたプロメーテウスの弟エピメーテウスは、「ゼウスからの贈り物を受け取るな」という兄プロメーテウスの忠告に背き、美女パンドラーと結婚した。エピメーテウスは、プロメーテウスから「人間を苦しめる悪が詰め込まれているので開けないよ

181) http://www.palette.furukawa.miyagi.jp/space/astronomy/constellation/greek_gods.htm（2021年1月30日確認）。

うに」と言われた黄金の箱を受け取っていた¹⁸²⁾。ある日、好奇心に負けたパンドラーが開けてしまったので、この箱に収められていた、病氣、盗み、妬み、憎しみ、悪だくみという5つの悪が広く世間に撒き散らされた。この箱には、6番目に、希望が収められていた。

2 ローマ神話にも6が使われている。まず、ウェスタ (Vesta) の処女によるウェスタの不滅の火の管理に関するウェスタ信仰を取り上げよう。ローマの原始宗教では、家が家族の居場所であり、家の中心 (focus) は炉であった (ラテン語のfocusは炉の意)。シンデレラ¹⁸³⁾の物語が示すように、炉の世話は若い未婚の娘によって行われ、炉の守護神 (numen) は女性と考えられていた。それは、家長 (paterfamilias) は家の外で忙しく、主婦 (materfamilias) は台所仕事や機織りで忙しかったからである。古代ローマの王政が廃止されても、6人の乙女たちが王の住居に近いウェスタの神殿に仕えていた¹⁸⁴⁾。

紀元前8～6世紀、イタリア中部を支配したエトルリア人は男神6体女神6体の神秘的な名前を持つ12体の神々を崇めていた。ローマ人はこの12体の神々を受け継いだが、その際、これらをギリシア神話の偉大な12体の神々と一体化させた¹⁸⁵⁾。ローマ神話の神々の名 (かっこ内はギリシア神話の神々の名) を挙げると、男神はユーピテル (ゼウス)、ネプトゥヌス (ポセイドン)、マールス (アレス)、アポロ (アポロン)、ウルクァヌス (ハーパイストス)、メルクリウス (ヘルメース)、女神はユーノー (ヘーラー)、ミ

182) この点については、神々が婚姻に際して、「決して開けてはいけない」と言い含めてピトス (「甕」, 「箱」の意) をパンドラーに持たせたという説明もある。これらの神は、テテュス、フォイベ、ティア、レア、テミス、ムネモシュネと呼ばれた。山室静『ギリシャ神話』(社会思想社, 1981年) 37頁。

183) 『灰かぶり姫』(灰かぶり, Cinderella, Cendrillon, Aschenputtel) <http://hukumusume.com/douwa/pc/world/03/31.htm> (2021年1月30日確認)。

184) ペロン (中島健訳)『ローマ神話』(青土社, 1993年) 63頁以下。 <https://www.parisii.jp/product-group/78> (2021年1月30日確認)。

185) ペロン (中島訳)・前掲書 (前注184) 115頁以下。

ネルウア (アテーナー), ディアーナ (アルテミス), ウェヌス (アプロディーテー), ウェスタ (ヘスティアー), ケレース (デーメーテル) となる。これらは類型(3)に当たるようにみえる。

ローマ神話における6の意味を考える際の今ひとつの素材は「6月の花嫁 (June Bride)」¹⁸⁶⁾である。日本の6月は梅雨期で雨が多く、結婚式に適していないため、第二次世界大戦後「6月の花嫁」が流行するまで、6月に結婚式を挙げるカップルは少なかった。現在の日本では、この言葉に憧れて6月の挙式を希望するカップルが増えている。6月に結婚式を挙げると生涯にわたって幸せな結婚生活を送ることができるという言い伝えは、夢見がちな乙女にとって、緩やかな社会行動文法と捉えられているようにみえる。

ヨーロッパを起源とするこの慣行の由来には3つの説がある¹⁸⁷⁾。ある説明によれば、(1)ローマ神話の主神・ユピテル (ジュピター) の妻・女神ユノは結婚や出産、育児の象徴とされ、女性や子供、家庭の守護神とされている。ローマ神話では1月から6月まで月ごとに守護神が定められ、結婚の象徴であるユノは6月に配されている (6月は英語でJune, ユノはアルファベットでJunoと書かれ、6月の英語名にも使われている)。結婚の女神ユノが6月を守護しているため、「6月に結婚すると幸せな結婚生活を送ることができる」と言われた。(2)6月に結婚が解禁されることに着目した別の説明では、かつてヨーロッパでは農作業の繁忙期にあたる3月、4月、5月の3ヶ月間は結婚が禁止され、農作業が一段落する6月に結婚が解禁されたことが起源とされている。このほか、(3)ヨーロッパでは6月が1年間で最も雨が少なく、天気の良い日が多い時季にあたるため、この慣行が生まれたとされる。(1)が神話に基づくのに対し、(2)と(3)には実利的観点が見られる。これらの説明も類型(3)に当たるようにみえる。

186) https://www.hibiyakadan.com/lifestyle/z_0046/; https://www.hibiyakadan.com/lifestyle/z_0046/ (2021年1月30日確認)。

187) https://www.hibiyakadan.com/lifestyle/z_0046/ (2021年1月30日確認)。

3 このほか、古代インドとペルシャに共通する宇宙創成神話でも6が用いられている。宇宙はまず天空、次いで水、大地、植物、動物、そして最後に人間という六つの段階を経て造られた。この順序は、旧約聖書の創世記におけるそれ（光（昼と夜、夕べと朝）、大空（天）と地と海、草と果樹、太陽と月と星、生き物（海の魚・空の鳥、家畜・地の獣・地を這うもの）、神にかたどった男と女）とやや異なっている¹⁸⁸⁾。

『リグヴェダ』に謳われたインド神話では、鍛冶師の3兄弟が、祭祀神ブルハस्पティのために供犠式に必要なあらゆる供物を出す神牛1頭を、戦神インドラのために彼の戦車を引く2党の軍馬を、豊穡と医療の神アシュヴィンのために彼ら3名の乗り物である三輪の魔法の車を造った¹⁸⁹⁾。ここには、 $1+2+3=6$ という数が隠されている。

ペルシャ神話における天地創造の話でも、天地とそこにある万物は六段階により、365日かけて想像されている。空が40日、水が55日、血が70日、植物が25日、動物が75日、人間が70日かけて創造され、6段階に分けて行われた各創造の後にそれぞれ5日ずつの休息がとられた（ $40+5+55+5+70+5+25+5+75+5+70+5=365$ ）。空とともに、天体、12宮の星が想像され、悪神の軍との戦いのために648万の戦星が配された¹⁹⁰⁾。北シリアのウガリットという都市国家に伝わる神話では、ハルナイムの王ダニルウには息子がなかったので、6日間儀式を行って、神々に息子の誕生を願ったところ、バアル神が現れ、父神イルウに取り成したのでダニルウの妻は身ごもり、息子アクハツが生まれた¹⁹¹⁾。これらは類型(2)に当たるように見える。

188) 創世記1章1-31節。

189) 大林太良・伊藤清司・吉田敦彦・松村一男編『世界神話事典』（角川書店、2005年）357頁。

190) 『総解説 世界の神話伝説』（前注176）29頁。

191) 『総解説 世界の神話伝説』（前注176）86頁。

3 童話¹⁹²⁾

(1) グリム童話

6に化体された法文化は童話にも見出される¹⁹³⁾。グロスフェルト博士に倣って¹⁹⁴⁾グリム童話に素材を求めよう。ヤーコプ・ルートヴィヒ・カール・グリム (Jacob Ludwig Carl Grimm, 1785-1863年) とヴィルヘルム・カール・グリム (Wilhelm Karl Grimm, 1786-1859年) 兄弟¹⁹⁵⁾には3人の弟と妹1人がいた。彼らが6人兄弟であったこと¹⁹⁶⁾自体, 6という数の意味を考える上で暗示的であるといえるのかもしれない (グリム兄弟の場合, 6という数は, 5(男)+1(女)=6であって, $2 \times 3 = 6$ ではない)。グリム童話には6にまつわる話がいくつか収録されている。以下, KHM (Kinder- und Hausmärchen)¹⁹⁷⁾番号の若い順にみておこう。

(2) 『六羽の白鳥 (Die sechs Schwäne)』 (KHM49)¹⁹⁸⁾

1 これは魔女により白鳥に変えられた6人の兄を助ける妹の献身を

192) 名数と民話との関係に触れたものとして, 清海節子「民話に於ける数の種類と役割——先行研究と日本民話に於ける数の用法——(1)」駿河台大学論叢50号 (2015) 45頁以下, <https://core.ac.uk/download/pdf/51451594.pdf> (2021年1月30日確認)。

193) 堅田剛『法の詩学——グリムの世界——』(新曜社, 1985年)。

194) Großfeld., a.a.O. (前注**), S.144 (グロスフェルト・前掲書 (前注*) 175頁)。

195) 小澤敏夫『グリム童話の誕生』(朝日新聞社, 1992年), 堅田剛・前掲書 (前注193), 小堀麻実「グリム童話から見る『魔女』論」比較文学53頁以下 (https://toyama.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download (2021年1月30日確認)。) 他。 <https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=514>; <https://www.shinchosha.co.jp/writer/213/> (2021年1月30日確認); <http://www.misheila.sakura.ne.jp/grimm-note.html>; <https://www.britannica.com/biography/Jacob-Ludwig-Carl-Grimm> (2021年1月30日確認)。

196) <https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=514>; <http://www.newsdigest.de/newsde/news/featured/5416-962/> (2021年1月30日確認)。

197) Kinder- und Hausmärchen, Gesammelt durch die Brüder Grimmの頭文字。

称える話である（ $6+1=7$ ）。

狩りの途中で道に迷った王が、「自分の娘を後にすれば、城に戻る道を教える」という魔女の提案を受け容れ、無事に帰還した。王には前婚の后との間に6人の息子があり、一番下に娘がいた。新しい后（魔女の娘）が子供たちに危害を加えることを恐れた王は、遠く離れた森の中の城に子供たちを隠した。そこへ行く道は、賢い女から貰った秘密の糸玉を使わないと辿り付けられないほど複雑であった。頻繁に子供たちに会いに行く王の行動に疑念を抱いた后は、家来に調べさせて王の行き先を知り、糸玉を見つけた。后は白い絹でシャツを作り、王の留守中にシャツを持って子供たちを訪ねた。父親かと思って城から出てきた子供たちに后が持参したシャツを投げ付けると、シャツが体に触れた子供たちは白鳥になり、空高く飛び去ったが、下の娘が城に残っていることに、后は気付かなかった。翌日城へ向かった王に、娘は、兄たちが残した羽を見せながら后の悪事を伝えたが、王は娘の話の信じなかった。息子らが誘拐されたと考えた王は、娘を城へ連れ帰ろうとしたが、継母を恐れた娘は「森の城にとどまりたい」と頼み込んだ。

兄たちを探して一晩中歩き続けた妹は、森の中の狩人の家に小さなベッドが6つあるのを見つけた。ベッドに入り込んで眠った妹は、翌朝、屋外で地面に降りようとする6羽の白鳥に気付いた。1羽ずつ降り立った白鳥が人間の、それも兄たちの姿に変わったのを見て、妹は兄たちとの再会を喜んだ。「この盗人の家に居てはいけない。見つかったら殺される」という兄に、妹が「私を守って」と頼むと、兄たちは「だめだ。僕たちは毎晩15分間だけしか人間の姿に戻れない」と答えた。「もう人間に戻れないの？」と尋ねた妹に、兄たちは「おまえが6年間笑いも話もせず、アスター（都わすれ、エゾギク）の茎で僕たちのシャツを作ってくれば、人間

198) https://www.grimmstories.com/de/grimm_maerchen/die_sechs_schwane (2021年1月30日確認); <https://www.pitt.edu/~dash/grimm049.html>; <https://furansugonosekai.com/the-six-swans/> (2021年1月30日確認)。

に戻れる。一言でも話したら、それまでやった仕事が無になる」と答え、白鳥の姿に戻って飛び去った。妹は、兄たちを人間に戻そうとアスターの莖を集め、誰にも何もしゃべらずにひたすらシャツを縫い始めた。

それからずいぶん長い時間が経ったある日、その国の王の一行が通りかかり、黙々と樹の枝に座ってシャツを作り続ける娘を見つけて理由を尋ねた。妹娘が彼らの問いに答えなかったので、家来たちは娘を担ぎ上げ、王の前に引き出した。娘は王の問いにも沈黙を貫いた。王はこの美しい娘を城に連れ帰り、后とした。王の母は素性の知れないこの娘をいじめた。翌年、后（妹娘）に子供が生まれると、王の母は後の就寝中に赤子を連れ出し、後の口のまわりに血を塗りつけ、「后が子供を食べた」と息子に言い付けたが、王はこの話を信じなかった。后は黙ってシャツを縫い続けた。第2子が生まれた翌年も第3子が生まれたその翌年も母親は子供を奪い取り、「后は人食い鬼だ」と訴え続けたため、王は一言も弁解しない后を火炙りの刑に処す旨、言い渡した。

シャツを作り始めてから6年目の最後の日に刑が執行されることとなった。6着のシャツはほぼできあがっていた。木に括り付けられた後の腕にはシャツが掛けられていた。火が付けられる直前、バサバサと飛んできた6羽の白鳥に后が投げた白いシャツが体に触れた途端、白鳥の羽が落ち、兄たちは人間に戻った。兄たちと抱き合って喜んだ妹は王に「ようやくあなたにお話できます。私は無実です」と事の次第を話し始めた。王の母親が子供を隠したことが暴かれ、3人の子供たちは無事に后のもとに戻された。母親は火炙りの刑に処され、王と后、6人の兄たちは長きにわたって幸せに暮らした。

2 白鳥に変えられた兄を助けるために末の妹が示した愛と献身の貴さを伝えるこの話から、読者は、アンデルセンの創作童話『野の白鳥』¹⁹⁹⁾

199) 継母の呪いで白鳥になった11人の兄を助けるため、妹が献身する話。

<https://furansugonosekai.com/the-wild-swans/>（2021年1月30日確認）。

を連想されるかもしれない。

主な登場人物は、王と前婚の后と7人の子供たち（6人の息子と1人の娘、 $1+1+7=9$ ）、魔女と魔女の娘（ $1+1=2$ ）、王と後婚の后（魔女の娘）、別の王とその王の母（ $1+1=2$ ）、別の王と妹娘と3人の子供たち（ $1+1+3=5$ ）である（ $7+2+2+5=16$ ）。王の家族および別の王の家族を核家族とみると、どちらも奇数で表される。夫婦および親子は偶数で示される。性別不詳の赤子3人を除くと、女性は奇数の5人、男性は偶数の8人となる。偶数（2や4）が女性を表し、奇数（3）が男性を示すという数字の意味²⁰⁰を思い起こすと、女性の5と男性の8という数の逆転現象の趣旨が改めて問われることとなろう。これに対して、前婚の息子が偶数の6人と表されるのは上の説明に対応する。ドイツ語の数詞（基数）が女性名詞であることはここでは考慮されていない。

糸玉で連想されるのは、グリム童話の「糸くり三人女（Die drei Spinnerinnen）」（KHM 14）、「茨姫（眠れる森の美女、Dornröschen）」（KHM 50）、「ルンベルシュティルツヒェン（がたがたの竹馬こぞう、Rumpelstilzchen）」（KHM 55）などである。糸を紡いで糸玉を作ることは女たちの大事な仕事であった。「賢い女から貰った秘密の糸玉」という表現は道案内者が女性であること、ひいては王と道案内者との緊密な関係を意味し、魔女が糸玉を見つけて城へ辿り付いた点は王の秘密の女性関係が暴かれたことを表すようにもみえる。白鳥については、クラシックバレエ作品として著名な「白鳥の湖」²⁰¹が連想されよう。白鳥に変えられたオデットとオデットに化けた悪魔の娘オディール（黒鳥）は良い人間性と悪い人間性の象徴とされている。このことは、悪い性格の魔女との対比において、6人兄弟の人間性が良いものであることを意味する。シャツは、イタリアの昔ばなし「まんぞく者

200) Großfeld, Zeichen und Zahlen im Recht (前注**) S.110, 119 (グロスフェルト (山内訳)・前掲書 (前注*) 134, 144頁)。

201) <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/meisakudrama/meisakudrama/hakuchou.html> (2021年1月30日確認)。

のシャツ」²⁰²⁾が示すように、変身的手段を意味する。アスターの花言葉には「信頼」という意味がある²⁰³⁾。火炙りは、魔女裁判における拷問の方法²⁰⁴⁾として採用されたものであり、妹娘や王の母が魔女とみなされたことを暗示する。シャツを意味するドイツ語の「Hemd」は中性名詞である。シャツの作成に要した6年を含め、この話に用いられた6という数はどのような法文化的意味を持っているのだろうか。

(3) 『六人男，世界を股にかける (Sechse kommen durch die ganze Welt)』
(KHM71)²⁰⁵⁾

1 次の話は、卓越した能力を發揮して宝を手に入れた男たちの成功物語である。

抜群の能力を發揮して戦争で手柄を立てたのに、戦争が終わると、銅貨3枚を渡され、解雇された男がいた。兵隊上がりの男は、復讐のため、雇い主であった王から国中の宝物を取り上げようと考えた。男は、6本の大木を簡単に引き抜けるほどの怪力男を見つけ、一緒に復讐しようと仲間に誘った。兵隊上がりの男は、その後、2マイル先の木の枝にとまったハエの目を撃ち抜ける狩人、片方の鼻息で2マイル先の7つの風車を回せる男、さらに、片足で立ち他方の足はずして休ませ、2本足で走ると飛翔する鳥より速く走れる男、帽子を頭に被ると周囲を凍らせてしまうため片方の耳に帽子を乗せていた男、というように、仲間を増やした。彼らはある町

202) <http://hukumusume.com/douwa/pc/world/09/12.htm> (2021年1月30日確認)。

203) <https://charlor.net/3656> (2021年1月30日確認)。

204) <http://www.ic.daito.ac.jp/~uriu/thesis/2006/arai.html> (2021年1月30日確認)。

205) https://www.grimmstories.com/ja/grimm_dowa/rokuri_otoko_sekai_o_matanikakeru; <https://grimmdowaclub.net/khm071%E3%80%80%E3%80%8E%E5%85%AD%E4%BA%BA%E7%94%B7%E3%80%81%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%82%92%E8%82%A1%E3%81%AB%E3%81%8B%E3%81%91%E3%82%8B%E3%80%8F%E3%81%AE%E3%81%82%E3%82%89%E3%81%99%E3%81%98/> (2021年1月30日確認)。

で、王が「自分の娘と競走して勝った者を娘の花婿にする、負けた者の首を刎ねる」というお触れを見て、この競争に挑んだ。

「遠くの泉で水を汲み、先に戻って来た者が勝ち」という最初の課題に挑戦した速く走れる男は姫君に大差をつけて水を汲んだのに、帰る途中で疲労感に襲われ、地面に転がっていた馬の頭蓋骨を枕に眠り込んでしまった。追い付いた姫君がこの男の壺を空っぽにして走り去った。それを遠くから見ていた狩人が速く走る男の枕（馬の頭蓋骨）を撃ち抜いたので、彼は慌てて起き上がってもう一度水汲みに走り、姫君を追い越してゴールした。兵隊上がりの男に娘を取られるのを嫌がった王は、御馳走を並べた鉄製の部屋に6人を閉じ込め、下から火を燃やして苦しめるよう、料理番に命じた。しかし、片耳に帽子を乗せた男が帽子を頭に被り直したので、室内は一気に冷え、6人は助かった。「望むだけの金貨をやるから、娘を諦めてほしい」と降参した王に、兵隊上がりの男は自分の仲間が担げるだけの金貨を払うよう要求した。14日後、兵隊上がりの男は大きな袋を力持ちの男に担がせて王のもとへ行き、袋に入るだけの宝を要求した。王は手持ちの宝だけでは賄えず、国中の金貨をすべて渡さなければならなかった。王は腹を立て、騎兵に宝を取り返すよう命じたが、鼻息でなんでも吹き飛ばす男が騎兵を全員吹き飛ばしてしまった。この知らせをきいた王は、6人の男たちが只者ではないと分かって、取り戻しを諦めたので、6人の男たちは宝物を山分けし、死ぬまで楽しく暮らした。

2 主たる登場人物は王と6人の男たちである (1+6=7)。7人全員が男性である。水汲みは、グリム童話の『命の水 (Das Wasser des Lebens)』²⁰⁶⁾ (KHM097) やチェコ民話の「命の水²⁰⁷⁾」、ロシア民話の「勇士と若返りの

206) https://www.grimmstories.com/ja/grimm_dowa/inochi_no_mizu; https://www.grimmstories.com/ja/grimm_dowa/inochi_no_mizu (2021年1月30日確認); https://www.geisya.or.jp/~mwm48961/english/gutenberg_lifewater1.htm (2021年1月30日確認)。

207) <https://ameblo.jp/ayumusic7/entry-12562036720.html> (2021年1月30日確認)。

りんごと命の水」²⁰⁸⁾などに見られるように、生活上不可欠の事項であり、転じて、求婚者（男性）が十分な生活力を有するか否かの審査を意味する。火炙りは、前述（「六羽の白鳥」）のように、求婚者が魔物ではないことを確認する手段となっている。最後の、兵隊の撃退は、男たちが王よりも優れた能力の持ち主であることを示している。この話は、権力者とみられる王よりも優れた人物の存在を示すことで、誰にも謙虚な振舞いが求められることを暗示する。

この話では、銅貨3枚、2マイル先の木の枝、2マイル先の7つの風車、2本足というように、複数の数が使われていた。2マイルと2マイルと2本足、これらは、 $2+2+2=6$ というように、書き表せる。銅貨3の3は、2が3回使われていることを表す。王と男たちの人数を足した数7は、7つの風車にいう7と重なる。それでは、ここにいる6は何を意味しているのだろうか。

(4) 『六人の家来 (Die sechs Diener)』 (KHM134)²⁰⁹⁾

1 次の話も、異能者の活躍物語である。

人間を破滅させようと考えた魔女の女王が、見目麗しい自分の娘に結婚を申し込む人間に対して不可能な仕事を押し付け、失敗すると容赦なく首を刎ねていた。ある王子がこの娘を妻に迎えたいと望んだが、父王の反対に遭い、7年間も寝込んだ。諦めた王は王子に求婚することを許した。王子は求婚に向かう旅の途中で、特異な技能を持つ6人の男（太った大男、なんでも聞き取れる男、山のように背の高い男、睨み付ける眼力でなんでも壊す男、

208) <https://ameblo.jp/panpukin-0317/entry-12287405283.html> (2021年1月30日確認)。

209) https://www.grimmstories.com/ja/grimm_dowa/rokuri_no_kerai; <https://grimmowaclub.net/khm134%E3%80%80%E3%80%8E%E5%85%AD%E4%BA%BA%E3%81%AE%E5%AE%B6%E6%9D%A5%E3%80%8F%E3%81%AE%E3%81%82%E3%82%89%E3%81%99%E3%81%98/> (2021年1月30日確認)。

暑さも寒さも消し去れる男、そして、すべてを見通せる男)を家来に加え、魔女の女王を訪ねた。

女王は、紅海に落とした自分の指環を取り戻すよう、命じた。すべてを見通せる男が指環の在り処を見つけ、太った大男が紅海の水を飲み干し、背の高い男が身を屈めて指環を取った。女王は、今度は、300頭の牛を食べ尽くし、300樽のワインを飲み干すよう命じたが、太った男がいとも簡単に平らげた。最後に、女王は、真夜中の12時まで娘をしっかりと抱き続けているよう求めた。背の高い男が王子と娘の周りに抱き着き、太った男が戸の前に座り込んでいたが、女王は、皆11時には眠り込んでしまうよう魔法をかけ、娘を連れ去った。11時45分に皆は目を覚まし、娘がいないことに気づいた。すべてを見通せる男が、娘が徒歩で300時間ほどかかる遠く離れた岩の中にいる娘を見つけ、背の高い男となんでも壊す男がすぐに出掛け、眼力で岩を粉々に砕いて娘を連れ帰った。女王が12時に見にいくと、求婚者が娘を抱き抱えていたため、女王は娘を結婚させるしかなかった。翌日、高慢な娘は、薪の中で火の熱さに堪える仕事を熟こなさなければ結婚しないと息子に言った。暑さに耐えられる男が薪の中に入り、3日後に火が燃え尽きるまで留まった。言い逃れできなくなった娘は、結婚式のため教会に向かう馬車に乗せられた。馬車を連れ戻すため、女王は兵隊を派遣したが、家来たちの活躍で兵隊は追い返された。

6人の家来たちが役割を終えて旅に出た後、王子は「自分は実は豚飼いで、これからはその仕事をしなければならない」と妻に伝えた。妻は1週間豚飼いの仕事をさせられ、自分の高慢さが原因でこういう結果になったと反省しながら暮らした。1週間後、呼出しに応じた妻は城に出向き、王家の服を着て広間に座っている王子をみた。王子は妻に、自分が妻のために苦しんだから同じように苦しんでもらわなければならなかったと告げた。こうして、はじめて2人の結婚式があげられた。

2 この話の主たる登場人物は、魔女の女王と娘 (1+1=2)、王と王子 (1+1=2)、王子と6人の家来 (1+6=7) である。登場人物の合計は、2+2+

6=10人となる。男性8人と女性2人。ここでは、女性を表す偶数のみが使われている。

魔法の女王は王子に3度に亘って難題を与えた。最初の課題における指環には、指の「周りをグルリと回る」という具体的な形状から、人と人との繋がり、強い結び付き、目に見えない愛情、友情、絆といった抽象的な意味が派生する。婚姻（縁結び）はその典型例である。「牛」や「ワイン」は結婚式における祝宴の御馳走を表す。「抱き抱える」は新婚初夜を意味する。こうみると、指環を探させるという行為に始まる3度の試練はいずれも求婚者の適性を判断するために必要な審査の過程であったことが分かる。最後に登場する「豚」には、ギリシア神話の穀物の栽培を人間に教えた豊穡の神、デーメーター（ローマ神話における豊穡の神、農耕の女神、ケレス）と同様、多産と豊穡の象徴という意味が込められている²¹⁰⁾。

この話に現れた数字のうち、3については、「3日後に火が燃え尽きる」のほか、「300頭」、「300樽」、「300時間」というように、300が3回繰り返されている。3には、1（自分）、2（相手）、その他（第三者）という以外に、「数えられないほど多い」という意味もあり、300は3の100倍ということから、無限に近い数量的な大きさを表すことが分かる。この話における3つの時刻は、シンデレラ（灰かぶり姫——フランスの詩人シャルル・ペロー『サンドリヨン（Cendrillon）』やグリム兄弟『Aschenputtel（KHM21）』）の話にも表れていたように、真夜中の12時が締切時刻を表し、11時45分はタイム・リミットが迫っていることを知らせるお城の鐘（リマインド）を示している²¹¹⁾。そうすると、11時は、11時45分に行われる予告を聴けないようにする妨害行為に必要な時刻であったと推測される。さらに、「1週間豚飼いの仕事」、「1週間後」というように、1週間（7日）という言葉が2度、

210) バストゥロー（松村恵理・松村剛訳）『王を殺した豚 王が愛した豚——歴史に名高い動物たち——』筑摩書房、2003年）他。

211) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1086054485（2021年1月30日確認）。

使われている。これは、聖書における数字の意味から推測すると、6 が不完全さを意味することとの対比において、それより多い7 が完成（完全性）を表すことから、王子と娘の婚姻が完成したことを表し、1 週間が2度繰り返されるのは完成の度合い（夫婦の結び付き）が強められているものと解される。このようにみると、家来の人数6 は不完全を意味し、王子を加えた7 人が完成形を表していることが分かる。

(5) まとめ

「シナの5人兄弟」²¹²⁾の話の思い起こさせる最後の話の主な登場人物は、魔女とその娘 (1+1=2)、娘への求婚者とその父 (王 (1+1=2)、そして、求婚者とその家来 (1+6=7) である。2組の親子に求婚者とその家来を加算すると、2+2+7=11となる。女性は2人で、男性は9人である。ここでは、偶数が女性を意味し、奇数が男性を表すという前述の説明との対応性が見てとれる。

212) そっくりな顔をしているシナの5人兄弟にはそれぞれ常識ではあり得ない特技があった。長兄は海の水を飲み干すことができ、次兄は鉄の首をしており、三男はどこまでも足を伸ばすことができ、四男は火にも燃えない体の持ち主で、末っ子はいつまでも息を止めていることができた。5人兄弟がそれぞれに特技や体質を発揮してピンチを切り抜けるところがこの話のミソである。一番上の兄が魚を取っていたとき、小さな男の子から魚採りに連れて行くようにせがまれ、最初は断ったが、あまりにせがまれたため「絶対に言うとおりにすること」と約束させて魚採りに連れて行った。海の水を飲み干してしまえば、魚は打ち上げられた状態になり、いくらでも採り放題である。海の水を飲み干すという彼の特技は、水を全部飲み込んでしまうのではなく、一時的に口の中に含んで蓄えておくことなので、時間が経てば吐き出さなければならない。長兄は男の子に戻ってくるよう何度も合図したが、小さな男の子は初めて見る小石や貝などを拾うのに夢中になり、約束を忘れてしまった。耐えきれなくなった長兄が我慢していた海の水を一気に吐き出してしまったので、男の子も海に沈んでしまった。長兄は「犯罪者」とされ、裁判で打ち首の刑を言い渡された。死刑執行当日、長兄は母親に一目別れを告げたいと懇願し、帰宅して、次兄とバトン

王の家族と別の王の家族は、両者を核家族と捉えると、ともに奇数で表される。他方、夫婦および親子は偶数で示される。性別不詳の赤子3人を除くと、女性は5人と奇数で、男性は8人と偶数でそれぞれ表示される。このほか、銅貨3枚、2マイル先の木の枝、2マイル先の7つの風車、2本足というように、複数の数が使われている。2マイルと2マイルと2本足、これらは、 $2+2+2=6$ というように、書き表せる。銅貨3枚は、2が3回使われていることを表す。王と男たちの人数7は、7つの風車にいう7と重なる。

これら3つの童話に用いられた6について、われわれはどのような法文化を読み取ることができるだろうか。聖書の数字6に対する評価（不完全、悪——これは中国における「古人の『六合』宇宙観」に対応する）がそれぞれの前提にあるとみると、幸せな生活(7)をもたらず前提として不完全さの克服(6の解消)が必要であったという趣旨で、類型(1)の形成基準が見出されるかもしれない。これに対して、そうした前提が否定される場合、類型(3)の形成基準が現れているとも読める。

V 対 比

1 以上の個別的検討の成果をわれわれはどのように整理することができるだろうか。ミランダ・ランディは、6について、以下のように解説

タッチした。鉄の首を持つ次兄に打ち首の刑を執行することができないため、次兄は海に放り込まれることになった。次兄も長兄と同様に母親に別れを告げたいと懇願して家に帰り、今度は三男と交代した。いくらでも足を伸ばせるといふ特技を持った三男は、海に放り込まれてもぐんぐん足を伸ばしてピンチを凌いだので、火あぶりの刑に処されることとなった。このように、そっくりの顔をしているためにバトンタッチしても見破られず、それぞれの特技と体質を活用して死刑を免れ、いくら刑を執行しようとしても、まったく効果がないため、ついには無罪放免となった。<http://www.asahi-net.or.jp/~uz4s-mrym/page/osusume/osusum214.html> (2021年1月30日確認)。

していた。

“6 には、気品に溢れた預言者ともいべき雪の結晶のように、必然的に、完璧さ、構造、そして秩序、これらが付き物である。6 は、 2×3 という掛け算、偶数と奇数の結婚、つまり、創造を表す数でもある。旧約聖書では、宇宙は 6 日間で創造されたとたびたび言われている。

割り算で他の数を割ったときに割り切れる数を約数という。1 から 5 までの数を含むほとんどの数では、約数の合計がその数自体より小さくなる（15 の場合は $1+3+5=9$ ($9 < 15$)、27 の場合は $1+3+9=13$ ($13 < 27$)）。そこには不足分がある。6 は、奇跡的に、最初の 3 つの数の和と積であり、その約数は、最初の 3 つの数と同じく、1, 2, 3 である。それらを合算すると 6 となり、最初の完全数となる。

円周を 6 等分した円弧で円の半径を区切ると、正六角形になる。1 つの円の周りに 6 つの円がぴったりと配置されている。六角形は、平面をそれ自身の反復形で完全に埋め尽くすという点で、三角形と四角形に続く最後の正多角形である。

不思議なことに、3 辺の比率を 3 : 4 : 5 とすることでよく知られたピタゴラス三角形の面積と半円は、ちょうど 6 になる。

6 には、雪片、石英、グラファイトなどと同様、結晶構造が見られ、有機化学の基礎は炭素原子の六角形によって形成されている。水を加えるだけで済む。

昆虫は 6 本の足で這って逃げ、蜜蜂は本能的に蠟状の分泌物で六角形の蜂の巣を作る。²¹³⁾

213) Miranda Lundy, *Symbolik der Zahlen*, Mannheim 2010, S.18. (2021年1月30日確認)。

古代ギリシアでは、6は「結婚、調和、女神アフロディーテ、幸せな偶然、幸福 (Ehe, Harmonie, Göttin Aphrodite. Glücklicher Zufall, Glück)」²¹⁴⁾を意味していた。当時、ナイジェリア南西部に居住していたヨルバ族 (Ọmọ Yorùbá) が信仰した宗教では、6は「戦争、力、男らしさ、稲光と雷鳴 (Krieg, Kraft, Männlichkeit, Blitz und Donner)」²¹⁵⁾を表していた。旧約聖書では、6は「神とイスラエルの民に反抗する人間の数、完全性、天地が創造された6日間 (Zahl des gegen Gott und sein Volk rebellierenden Menschen, Vollkommenheit, die sechs Tage der Schöpfung)」²¹⁶⁾を示している。イスラムとスーフイズム²¹⁷⁾では、6は「知性の数 (Zahl des Intellekts)」²¹⁸⁾を示す。ムスリムには、「五行」²¹⁹⁾に加え、「六信」と呼ばれる6つの信仰箇条 ((1)唯一無二の神 (唯一全能の神 (アッラーフ)), (2)神の天使 (マラーイカ), (3)神の啓示 (啓

214) <https://www.ewigeweisheit.de/geheimwissen/numerologie/zahlenmystik/die-sechs-6> (2021年1月30日確認)。

215) <https://www.ewigeweisheit.de/geheimwissen/numerologie/zahlenmystik/die-sechs-6> (2021年1月30日確認)。

216) <https://www.ewigeweisheit.de/geheimwissen/numerologie/zahlenmystik/die-sechs-6> (2021年1月30日確認)。

217) イスラム神秘主義、イスラム教の神秘主義哲学。コーランの内面的な解釈を重視して、これと異なる理解を示したスンニ派による形式主義的なシャリーアを批判した初期のイスラム神秘主義思想家たちが、虚飾を廃した印として粗末な羊毛 (スーフ) の衣を身に纏っていたことから、彼らはスーフイー (şüfi) と呼ばれた。

218) <https://www.ewigeweisheit.de/geheimwissen/numerologie/zahlenmystik/die-sechs-6> (2021年1月30日確認)。

219) ムスリムに義務付けられた5つの行為、すなわち、信仰告白 (シャハーダ) 「アッラーの他に神は無い。ムハンマドは神の使徒である。」と証言すること。礼拝 (サラア) 一日五回、キブラに向かって神に祈ること。喜捨 (ザカート) 収入の一部を困窮者に施すこと。断食 (サウム) ラマダーン月の日中、飲食や性行為を慎むこと。巡礼 (ハッジ) 経済的・肉体的に可能であれば、ヒジュラ暦第十二月であるズーール=ヒッジャ月 (巡礼月) の8日から10日の時期を中心に、メッカのカアバ神殿に巡礼すること。

典、キターブ）、(4)神の使者たち（預言者（ナビー）と使徒（ラスール））（アダム、ノア、アブラハム、ヨセフ、モーセ、ダビデ、ソロモン、イドリース、ヨナ、イエス、そして最近ではモハメッドを含む）、(5)裁きの日（来世（アーヒラ））、(6)死後の生活と運命づけ（定命（カダル））（der Glaube an den einzigen Gott, seine Engel, seine Offenbarung, seine Gesandten (u.a. Adam, Noah, Abraham, Josef, Moses, David, Salomon, Idries, Jonas, Jesus und zuletzt Mohammed), der Tag des jüngsten Gerichts und das Leben nach dem Tod und die Vorherbestimmung）がある。バビロニアでは、6は「メソポタミア神話における天候や嵐、雷の神アダドの人数（天空の神アヌと大地の女神キ、風の神エンリルと穀物の女神ニンリル、月の神シンと豊穡の女神ニンガル）、6つの複合月、6歳という宇宙世界の年齢（Zahl des Hadad. Sechs Doppelmonate, sechs Weltalter）」²²⁰⁾を意味していた。仏教では、6は「宇宙は、4つの方位（東西南北）と2つの方位（天地）、計6つから成る（Das Universum hat die Zahl Sechs, den mit den vier Himmelsrichtungen und dem Oben und Unten hat es sechs Richtungen）」²²¹⁾と説明される。このようにみると、6には、文化圏により、異なる評価が与えられていることが分かる。

2 6が採用された各判断基準は、「……とき」（要件）➡「…という行動をとる」（効果）という形式で表される。この効果部分は、「……しなければならない」（義務）、「……すべきものとする」（当為）、「……することができる」（権利）、「……してはならない」（禁止）などの助動詞で示すことができる。各判断基準が上記4類型（義務規定、当為規定、権利規定および禁止規定）のいずれに分類されるかは、個々の社会集団の基本的価値観念に依る。義務規定の例としてはわが国の参議院議員の任期、小学校就学年限などが考えられる。当為規定の例としては、6音階、60進法による時刻表示、スポーツなどにおける6の使用が挙げられよう。この点では、国

220) <https://www.ewigeweisheit.de/geheimwissen/numerologie/zahlenmystik/die-sechs-6> (2021年1月30日確認)。

221) 前注220)。

際舞台と国内舞台とにおいて6の使用を使い分ける余地も残されている。国際大会に参加しようとするとき、6の使用は義務規定として機能する(サッカーの6秒ルール、バレーボールの6人制など)が、国内大会への参加であれば、当為規定のまま残することができる。権利規定の例としては、特殊な禁止事項がない限り、名称付与(人名、機関名、地名、行事名など)の使用が挙げられる。禁止規定の例としては、キリスト教社会における6の不使用(ヨハネの黙示録における666)が考えられる。

3 以上の判断基準(実定法のほか、倫理・道徳等、広義の社会規範を含む)に対して、その(根本的な)形成基準という意味での法文化(社会行動文化)としては、中国人社会の「古人の『六合』宇宙観」や「六」を巫術の数とみなすインド社会の基本的思考方法などが挙げられよう。イスラム教の「六信五行」も、これをイスラム社会の基本的価値観とみれば、法文化に組み入れることができる。上述の地域別および事項別の整理から読み取れる法文化には、3つの類型があった。「他国の例に倣う(既存のルールを模倣する)」(類型(1))というスタイルも「数量計算の結果を採用する」(類型(2))というスタイルも、それらが「固有の政策」という概念に包摂されるとみれば、両者は「固有の政策的配慮を行う」(類型(3))というスタイルに吸収され、類型(3)の下位分類に位置付けられることとなろう。

しかしながら、法文化比較の目的を考慮すると、このような類型化による差異の確認にとどまらず、それらを調整する基準の共有化にまで進まなければならない。この点でひとつの契機を提供するのが、世界各地に普及している童話や昔ばなしである。というのは、妥協の余地が乏しい神話や信仰心(宗教的感情)の場合と異なり、童話などから得られる教訓(家庭内におけるしつけ、家庭教育、学校教育など)については、国境の壁を越えて広く共有される余地があるからである(日本の「こぶとり爺さん」と韓国の「トッケビのこんぼう」と²²²⁾アイルランドの昔話「ダルーアン・ダモルト」²²³⁾、日

222) <https://intojapanwaraku.com/culture/40026/> (2021年1月30日確認)。

223) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1310624603 (2021

本の「浦島太郎」と北歐の「オシアン伝説」²²⁴⁾、日本の「姥皮」とフランスの「ロバの皮」²²⁵⁾とグリム童話の「千匹皮（千色皮）」²²⁶⁾ (KHM065) など。確かに、直接体験だけでなく、間接体験を含めて、われわれがすでに繰り返し経験してきたように、戦時下にある国や独裁制の国では、国家目標に沿った人材育成が行われるため、神話や童話の読み方にもかなりのバイアスが現れがちである。この点は、宗教、神話、童話などに限らず、多くの素材に対して、われわれがどのような社会行動文法に従っているかを改めて自覚的に検討する際の指針を提供するものと考えられる。

VI 結 び

1 小稿では、6 という数字に化体された法文化（社会行動文法）がわれわれの社会に現に存在しているか、存在しているとすれば、それはどのような現れ方をしているのかといった点が、限られた資料に依拠して、検討された。むろん、参照資料に大きな制約があるところから、解明すべき課題のごく一部にしか触れられていないことは、この筆者によっても十分に自覚されている。それでも、先行業績をみるかぎり、この種の試みが乏しいところから、ここでの限定的討究にも資料的価値があるものと考えられる。

2 周知のように、1894年（帝政オーストリア時代）、ウィーン分離派の画家グスタフ・クリムト²²⁷⁾ (Gustav Klimt, 1862–1918年) は、友人フランツ・

年1月30日確認)。

224) https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1310624603 (2021年1月30日確認)。

225) <https://marieco.hatenablog.com/entry/2018/03/04/162824> (2021年1月30日確認)。

226) https://www.grimmstories.com/ja/grimm_dowa/senbikigawa (2021年1月30日確認)。

227) <https://www.artpedia.asia/gustav-klimt/> (2021年1月30日確認)。

マツチュ (Franz Josef Karl (Edler von) Matsch, 1861-1942年) とともに、ウィーン大学大講堂天井画 (Gemälde der Decke des Großen Festsals der Universität Wien) として4点の『学部の絵 (Fakultätsbilder)』の制作を依頼された。「哲学 (Philosophie)」、「医学 (Medizin)」および「法学 (Jurisprudenz)」の3点はクリムトにより完成された(「神学 (Theologie)」はマツチュによる)。しかるに、「闇に対する光の勝利 (Der Sieg des Lichtes über die Finsternis)」, つまり、人間の知性の勝利を高らかに歌いあげるといふ依頼者の要望に反して、理性の優越性を否定する寓意に満ちた退廃的なものであったため、クリムトの3部作についてはその採否が争われることとなった²²⁸⁾。これら3つの古典的学問分野には、共通する課題がある。それは、人は何のために生きるかと悩んだり、身体を壊したり、争い事を招いたりする前に、そうした病理現象の発生を防ぐ健全な生活様式がそれぞれの分野に即して探求されなければならないとする方向への視座の抜本的転換である。法律学分野に即して言えば、それぞれの社会集団に固有の社会行動文法を発見し、それらの調整を図ることによって、紛争を未然に防止するためには、それぞれの法文化の理解が欠かせない。

3 そうした法文化は、概して、古い時代に形成され、常識や習慣というかたちをとって、今日まで継承されてきたものである。この点の探求は、歴史研究や、文学、民俗学、宗教学などに全面的に委ねられるべきものではなく、法律学の分野でも率先して研究されなければならない固有の主題に属する²²⁹⁾。小稿を結ぶにあたり、先駆者・グロスフェルト博士の次の言葉が改めて強調されなければならないであろう。

“ものごとはすべて人が好むようにしか認識することができない
……われわれは未知の文化が持っている、さまざまなものを作り出す

228) http://blog.livedoor.jp/a_delp/2019-06-25_klimt (2021年1月30日確認)。

229) 堅田・前掲書(前注193)他。

諸力を利用して、その座標軸を測定し、その文化が持っている、暗黙の、無意識の、また隠されている自己理解（さまざまなタブー）をほんのわずかでも感じ取らなければならない。というのは、未知の文化を染め上げているのはこうした細部のひとつひとつのことがらだからである。このようにすることによって、法の比較は社会秩序を比較するものとならなければならない……。”²³⁰⁾

(2021年2月5日脱稿) (本学名誉教授)

230) Großfeld, Kernfragen der Rechtsvergleichung, Tübingen 1996, S.289 (グロスフェルト (山内惟介・浅利朋香訳) 『比較法文化論』(中央大学出版部, 2004年) 317頁。